

令和6年度後期「子ども・若者の提案」に寄せられた意見

※明らかな誤字などを除き、寄せられた意見を掲載しています。

行ってみたくなる環境イベントのアイデア大募集！

テーマ あなたが行ってみたいと思う環境イベントを企画してください。（1,300件）

提案内容
私が思う「行ってみたくなる環境イベント」は、①今と数年後の地球の状態を知れる（体験）②カードに異常気象とその元になることを当てはめるゲーム 等です。 理由は①は身をもって体験すれば、数年後、どのような地球になっているのか、が分かんと思います。例えば今「2024年の地球」「ホットハウスアースになった地球」を体験させ、今このまま何もしなければこのようになってしまう、と考えさせるというのを考えております。②は子ども等にも楽しんでもらうためです。当てられたらちょっとしたカードやお菓子等スタンプを押してあげたりすれば良いと思います。①はかなり予算が必要で危険も生じる可能性もあります。②はダンボールでコピー用紙等を貼って絵を描き、小さなラムネやスタンプ、カード等が用意できれば来てくれた子どもも喜びと思います。
最近よくニュースなどで見かけるSDGsについての解決方法の事例を体験しながら学ぶというもの。これならば体験形式だから興味を持ってくれる人が多くなりそうだし、学びに大きくつながると思う。
しいたけなどのきのこ狩りをして、みんなでバーベキューを行う。また、参加者にはきのこやきのこに関する商品をプレゼントする。理由:きのこ狩りを通じて、もっと森林に興味を持ってもらえると思ったから。
クラスごとに参加でき、友達同士で話しあうことで環境について楽しく学ぶことができるようにする。。<理由>いつも学校で話している友達とやることで楽しくやれてやる気も起きるから。
無料で利用できるSDGsの体験イベントをつくる。(意見)無料ですることで、さまざまな年齢そうの人たちが来るので、普段かかわりのない年齢の人たちと関わるようなイベント。
会場で環境について学べるゲームをすればいいと思います。タブレットを設置して、「環境をよりよくしよう！」みたいなモットーでゲームをつくれれば、小さな子供が楽しめると思いました。なぜなら、説明するだけよりも、楽しみながら環境について学んだ方がいいと思ったからです。
都市開発シミュレーションゲームのイベントを行い、環境や政治について学ぶ。
・内容 回転するものにモーターを付けて発電させる ・理由 回転するものはさいたま市内にたくさんあるため、それら全部で発電すればたくさん の電気が手に入るから。
私が小学生の時に、お菓子の会社で募集していたエコなお菓子コンテストというコンテストに応募して、きのこを再利用したクッキーを提案し、入賞したことがありました。このことを思い出し、様々な企業のエコ商品を展示したり、実際に食べたりすることのできる環境博覧会を開催するのはいかがでしょう。
大きな迷路をつくって、わかれ目のところに、環境に関するクイズがあって、①、②、③、で正解の番号にすすむと先にすすめるというゲーム。・実際に動いてゲーム感覚で行った方がたのしく覚えられるから。
段ボールや木切れ（木片）を使ってティッシュ箱など身近で使うものを作る。理由：自分もそのイベントに参加してとても勉強になるとともに、楽しかったからです。
まだ使うことのできる木材の欠片やプラスチックなどを使ってコップや皿などの容器や置物を作り、売る店を開く。また、その店で上記のものを作る工作教室を開く。まだ使うことのできるものを身近にあるものに作り変え、それを買ってもらうことで普段ごみとして捨ててしまっているものに関心を持ってもらえるのではないかと考えたから。自分で実際に作ってもらうことでゴミなどの問題に親近感を抱いてもらうことができるのではないかと考えたから。
・内容 さいたま環境デー さいたま市にある大きな公民館で、環境について知る会を開催。行うイベントは環境の専門家の話を聞いたり、環境のクイズ大会をやったりする。前者のイベントは地球温暖化を促進させないための日常からできることなどの話を聞くことができる。後者のイベントは2人組をつくり、環境に関するクイズに挑戦。正解数に関わらず、参加者に木でできた、ストロー、フォーク、スプーンが人数分もらえる。 ・理由 環境の大切さを楽しく知ることができ、これをきっかけにし、環境への考えが変わるから。
発電所に行くツアー 発電所で電気が作られる過程を学ぶ。また、発電所付近にスタンプラリーを設置する。理由 電気のつくられ方をしれば、無 だ使いしなくなると思ったから。
さいたま市の学校ごとに市の職員さんによる環境についての説明会を行い、興味を持った人を中心的にイベントをする委員会を作る。また、クイズなどの体験型の企画をする。理由…まだ環境についてくわしく知らない人が減る。同じ学校だからという理由でイベントに来る人が増える。家族連れも体験型イベントで楽しめる。
自分のアイデアは、ゴミ拾い大会などを開催し、拾ったごみの重さで順位を付けたり、景品を用意するというものです。理由は子どもが楽しめると思ったからです。友達と競いあったり、おかしなど景品があったら子供もやりたくなると思ったからです。
環境について学べるブースをいくつか設置する。1つずつやるごとに動画が見れて、最後に全部のブースをまわり終わったら、1つの物語になる。全部まわらないと物語がどうなったのか分からないので、最後までやってくれる人が増えると思ったから。
SDGsのテーマに沿った体験型のイベントを開催する。例：2番目の「飢餓をゼロに」では実際に紛争地域などでユニセフが配るスープと同じものを作り、試食する 11番目の「住みつつけられるまちづくりを」では、割りばしでできるが、とても衝撃に強いミニハウスを作る 17番目の「パートナーシップで目標を達成しよう」では何人か(2～3人)でグループをくみ、会場内にあるSDGsののった謎ときをするなど。

提案内容
環境イベントに来た人々に、日本伝統の木の技術で作られた貴重なものを渡し、内容を植林するごとにポイントが増え、一定まで行くと、お菓子がもらえるようにした方がいいと考えました。お菓子を景品に入れると、みんな欲しがって来てくれると考えたからです。
食品などを低温に保つ物流方式は大量のエネルギーを必要としていることから、環境問題を促進させていると思っているので、屋台で地産地消をテーマとしたものにする。
環境イベントに参加してくれる子どもにお菓子をあげる。(理由)子どもは甘いものが大好きだから。
公園などのゴミ拾いイベント。さいたま市内を制限時間内に歩きゴミを探す。1〜5までそれぞれ景品、他の人は参加賞をもらう。ある特定の公園内のゴミ拾いイベント。ある特定の公園内のゴミを参加者たちが拾い、拾ったゴミ10コと飲み物を交換、20コと〇〇を交換などをしていく。
クイズやゴミ分別のタイムアタックなどのミニゲームを体験できる施設を作り、ゲームごとにその日の得点数ベスト3を提示する。一時的にベスト3に入ったら、環境グッズをプレゼント。参加賞もつくっておく。(理由)楽しく、環境問題を身近なものにできるから。商品を欲しがり、競争心のある子どもたちが積極的に参加してくれると思ったから。
5つの部屋を使い、このまま環境を破壊し続けたときの2025、2035、2045、2055年の埼玉県の森林を立体的にし、木を部屋いっぱいの高さまで作り、草は原寸大で紙や木で復元し、参加者に実体験させることで環境への関心を高め、さらに動く動物や昆虫の模型を入れリアルさを増す。ゴミも実物を使うことで、さらにごみを減らすことに関心を高めることができる。最後の部屋は、エコクイズを数問行い、5択のクイズで(激難)5秒以内に正解出来たらエコバッグをプレゼントし10秒以内に正解したら非塩ビ消しゴムをプレゼントし、さらに参加賞として木製キーホルダーをプレゼントすることで、環境についての関心を高めることができる。
おいしい昆虫食を作ろう！近年、食料危機に備えて、昆虫食というものが注目されつつあります。アリのケーキやイナゴ丼…名前を見ただけだと「なんだこれ、気持ち悪いし、絶対まずいでしょ…」と思いながらも、少し好奇心が湧いてしまいます。今回のイベントでは、そんなちょっと気になるけど、勇気が必要な昆虫食についての展示や簡単な材料・レシピで作れるものを作ってはどうでしょうか。
さいたま市環境クイズラリーを開催！1人から参加することが出来て、環境クイズに挑戦する。環境クイズに挑戦したら、受付に行くとエコバッグがもらえる。・理由 クイズで景品付きだから楽しめて、参加してくれる人も多いと思ったから。
さいたま市内で商品券を参加したらもらえるようにする。また、カードゲームとコラボして配る。理由は、自分だったら何か良い物をもらえないとこのようなイベントに行こうとおもえないから。
さいたま市の植物園内でスタンプラリーを行う。スタンプラリーを全て達成することができたら、植物の種子や植物図鑑などをプレゼントする。理由…スタンプラリーを植物園内で行ったり、植物に関するグッズをプレゼントしたりすることで、植物に関心がある子どもの興味を引き、気軽に参加することができると思ったから。
世界中をマップを使って観光しながらその地域ごとに環境問題について考えたり、問題が出てくるので、それに答えて、楽しく環境問題を学んで行こう！理由はおもしろくやらないときょうみがわかないと思ったから！
SDGsにはいりよした出店をつくり、出店には、はいりよしたSDGsを表示する。みんながSDGsを考えるきっかけになる。
・イベントー環境にはいりよしたお料理教室ー形の悪い売れなかったものを材料にしてそれぞれのグループでお料理して食べる。イベントが終わったら、使わなかった材料をもって帰ってもよい
さいたま市の各地にスタンプを置いて、スタンプをすべて集められたらSDGsにまつわる景品がもらえる。そして、スタンプが置かれている場所にはSDGsや最近の環境問題に関わるブースを設置して遊んでもらったらスタンプをおせるようにする。
参加者は軍手を持参して、参加者全員に袋を渡す。ある一定の時間になったら一斉にゴミ拾いを始め、さいたま市やその周辺ではゴミ拾いをしてもいいことにする。制限時間を決めて、それまでにできる限り多くのゴミを集めて、元の場所に戻ってくる。その袋の重さをはかって、一番重かった人は誰か競う大会にする。上位の人たちには地元の特産品などを賞として渡す。重さなどの量で競う大会ならば知り合いや友達と競いあうことでさらに仲が深まったりすると思う。
お仕事体験施設を作って、実際に体験してみる。その中でミニゲームやクイズなどを出しながら体験する。理由は小さい子でも楽しみながらできると思ったから。体験するタイプのものは子どもからけっこう人気のイメージがあるから。
・環境に関する問題を順番に解いていくスタンプラリーをする。景品に間伐材などを利用したグッズをもらえる。・浜辺に落ちているプラスチックごみを再利用してキーホルダーやアクセサリを作るワークショップを開催する。(参加費用は数百円程度に設定し気軽に参加できるようにする)
河川じきに、落ちているゴミを拾ったらおかしがもらえるキャンペーン。制限時間は10分で、1グループ10人のうち一番拾ったゴミの数が多い人がおかしをもらえます。理由は、子供はおかしが好きな人が多いので参加してくれるかもしれないと思ったからです。
「リサイクルツアー」をやる。最初にもうつかわなくなったものをもちあいバザーをした後ゴミをしおりしたエネルギーで入れるプールに行く。参加費を使わなくなったものと300円程度にして使わなくなったものは、大きさをだいたいのお金を決め、そのバザー専用のお金を作ればいいと思います。理由は大きいゴミは処理するのもお金がかかるならプールもいけていらない物を売った分でその人が欲しい物を買った方がいいと考え来る人が増えると思ったからです。
環境破壊などを学べるクイズ形式やゲーム形式のようなものを作って出す。なぜならふつうに環境破壊を学ぼうと思うとつまらないけどゲーム形式やクイズ形式にすれば、誰でも楽しめるし勉強が嫌いな人でも少しは環境について、勉強する気になれると思うから。
《環境に関するクイズがかくされている迷路》迷路を遊びながらも、環境についての関心も深められると思う。小さな子も楽しめると思うしゴールした参加者やクイズを全問正解した人などに、賞品を用意してモチベーションを上げる、また、「ゴールするまでのタイム×正解した問題数」などでポイントを競う大会を開さいさせたら多くの参加者がくると思う。

提案内容
内容1：年に一度又は二度環境に関する動画を流す。そのうえで、感じたことを紙に書いて、その思いでごみ拾いをする。そしてそれを続けて環境に対する感じ方の変化を具体化する。理由：自分で感じたことを具体化して実践することが一番大事だと思うから。内容2：街の緑化・山の森林を守るために植樹会をおこなう。理由：山の樹を守ることが環境を守ることにつながるから。内容3：祭りのやきそばに使う皿・プレートをバイオマスプラや生物分解性プラにする。理由：プラスチックを減らせば海洋問題を解決できるから。内容4：ゴミ拾い当番を学校で作りこの活動をいろいろな人に知ってもらう。理由：ゴミ拾いの活動を知ってもらえれば、ゴミをポイ捨てしようという気が減るだろうから。
近くのスーパーなどと協力し、ゴミ拾いやクイズなどで集まった人たちにジュースなどを配り、チームに分け、ゴミ拾いは拾ったゴミの重さ、クイズは勝った合計で勝敗を決め、スーパーのお買物券などを配ればいいと思います。理由・チームを作ることによって近所の人同士の交流が深まるから。・スーパーのお買物券などを景品にすることで、若者たちも含め、参加する意欲が高まるから。
環境に関するクイズがあるVRゲーム 5～6人で参加し、クイズに正解したら、目の前に現れたモンスターを倒すことができる。クリアすることができたら、正解数ごとに景品がもらえる。普段はできないVRゲームを子どもはやりたがる上、正解数ごとに景品がもらえるようにすると、頑張っ て正解しようと思えることができる。VRゲームは時間がかかるため、長い列ができ、それを見た人が何かかと思って集まってくるので、集客しやすいから。
みんなで照らそう町のあかり 町のあかりの模型を手回し発電機でeras。大変だと思うので、電気を作るのがどれだけ大変がわかると思う。その後、日常生活に使っている電気の量を調べてみる。電気が大切なことを学んだ後、家庭の節電について考える。学んだ後、その節電方法をシミュレーションする。理由 少しつまらないところもあるが、大人も子供も電気の大切さについて知り、節電について考えることができると思う。
スタンプを何か所かに設置して、その場所をまわりながら、ゴミを拾うキャンペーン。スタンプを設置する場所を、観光名所に置くことで、その町も活性化できるし、旅行気分でごみを拾うことができるから。また、全部スタンプをおせた人は、おかしを渡すことで、家族で、ゴミを拾うキャンペーンに参加できるから。
1 回5～10分の短いパフォーマンスをする。水をはった水槽に、氷に見たてたはっぽうスチロールを浮かべ、その上に白くまなどものをせる。その氷の上にCO ₂ と書かれた少し重い箱をそのCO ₂ が発生する原因を伝えながら乗せていく。するととどんどん氷がしずむようになるはずだから、氷がとけたとして温暖化を示す。その後かいけつ策も話す。短いパフォーマンスなら、人々がふと立ち止まると思うし、箱を見てる人々にものせてもらえば、人々も参加できる。
環境について動画で知ることができるイベント。このイベントは、まず環境問題などを知らない人たちが多くいると思うのでそのことについての動画を作って人々に環境のことについて知ってもらうイベント。なぜなら、動画で知ってもらった方が危機感を感じられて取りくもうという気持ちが変わってくると思ったからです。
環境のための次世代のエネルギーを一般人の参加ありという形で子どもでもわかるよう内容を万博のように発表し、そこで自販機や食事のコーナーでもプラスチックでなく、木や紙を使うことでかんきょうに優しい万博ができる。そこで子供たちも環境に対して興味を持つことで、また、次の世代、その次の世代へと、環境に対しての世間の認知、そして認知することで世論が動き、世界中の国々が研究をして、環境にやさしく、そしてありがたみをもらいながら使い、人間と環境(自然)が共存する世の中をつくれればいいと思う。
さいたま市の人たちが親子で参加できる「工作イベント」。 <理由>捨てられたペットボトルや自分の家の牛乳パックなどを使って、親と子が協力して、小さい車を使って、競争などをして、ポイ捨ての割合が高いビニール袋も使って行えば、市の清潔が保たれて、優勝賞品などがあれば親が参加したい人も現れ、少子化対策にもなる。
環境に良い例はどれか？などの、スクリーンを使った、多人数での早押しクイズを行い、上位者から環境にはいりよした物品をくばる。【理由】ゲーム感覚でたのしめるため、あまりエコに興味のない小さい子も参加してくれると思ったら。
埼玉県森林などに行き川の上流から下流まで沿って歩いて森の仕組みを知る。そのことで多くの人が森林の大切さを知ることができるので環境へ配慮できる人が多くなると思う。大人も参加しもう一度自分で自然の大切さを学べると思う。
[内容] 4～5人のグループを作り、グループごとにかたまって町のごみ拾いをして、拾ったごみの数などに応じて環境にやさしいグッズをプレゼントする。[理由]目標を設定することで参加者のやる気を引き出すことができ、そのまま環境改善につながるかのうせいがあるから。
環境保護に関する仕事を体験できるような施設を作り、たくさんの人にあそんでもらう。それにより、得た収入や、募金をして得たお金で、環境の保護のために使ったり、また、環境にやさしいと認定されたものは市が金を出して値段の割引券を作ったりするようにしたいと思う。
再生可能エネルギーに使われている太陽光発電のパネルや風力発電の風車みたいなやつなどのミニチュアのようなものをおいてだれでも仕組みがわかるようにする。ソーラーパネルがついている太陽光で動かせるおもちゃを作る体験ブースをもうける。おもちゃを作れるなら小さい子も楽しんで大人も再生可能エネルギーの勉強になるから。
エコなカップや容器を使った食べ物を提供し、リサイクルしてもらう。理由：食べ物なら、おいしく食べられて、フードロスを減らすべきという啓発も出来るし自分で使ったカップや容器をリサイクルすることによってリサイクルの大切さや、これからこころがけることにつながると思うから。
<内容>様々な環境問題についての問題を出し、回答して、正解すれば、スタンプラリーをうめられて、全部うめると、環境にやさしいエコのグッズをプレゼントする。<理由>今の環境の課題について深く知れて、環境問題について興味をもってくれると思ったから。
荒川をはじめとした大河川において地域の小中学生が環境にふれ合えたり、川のそうじなどを行ってさいたま市全体の環境への意識を高めてゆくべきである。理由として、さいたま市では全体的に自然を守っていると考えられる地域が少ないためである。
さいたま市環境クイズ大会！友達などと呼んで3～4人のチームでクイズ大会を行う。（家族でもよい）10問中何問あったかの数で景品をもらうことができる。理由：日本の環境のことをよりくわしく理解することができるうえに、友達や家族との団結力を高めることができるから。
スタンプラリー形式のイベントにして、今おきている環境問題にブースをたて、各ブースでクイズに正解したら、スタンプをもらえ、スタンプラリーがすべておわったら、エコバックやマイボトルなどの環境にやさしいグッズをプレゼントする。ゲーム感覚で環境について子どもでも学ぶことができ、環境問題への意識を高めることができる。
<内容>3～4人チームで一定区域内のごみ（ごみを模した物）を拾い集めて、そのごみを分別して箱に入れる。（だが、違う箱に入ってた場合は無効とする）そして、その点数で競い、全員に記念品を配り、1位をとれたチームは表彰される。<理由>やはり、体験型の方が楽しいと思い、そしてせっかく行ったからには何かもらいたいので記念品を配り、モチベーションを持つために1位のチームは表彰され、この体験を通してごみの分別を促進させるため。

提案内容
～内容～来てくれた人に環境にやさしい方はどちらかを選ぶゲームをして、最後まで生き残った人には景品として環境にいいお菓子やおもちゃをあげる。また、「3Rブース」をつくり、3Rの例を展示して、家庭での環境への取り組みを知ってもらう。～理由～まず、一番来て効果があるのは子どもなどがいる家庭なので、子どもが来たいと思いきやすいイベントを考えた。
環境に関する体験ブースに、一つずつスタンプをおいて、すべてのスタンプをおしたら、景品がもらえるようにしたいと思っています。体験することで、楽しみながら学ぶことができ、スタンプラリーにすることで、すべてのブースに行く人がふえると思ったからです。また、景品はエコバッグなど、実際に生活の中で使うことのできるものにして、学んだことをふり返ることができるように、パンフレットも一緒にわたしたいと思っています。
司会と参加者がいて、環境問題が起こるプロセスについて、体験できる実験を示し、その結果をもとに、自分達には何ができるのか、大喜利のような形式で発表していき、面白いと思ったアイデアを司会が3つ選び、その選ばれた内容を考えた人達が豪華景品をもらえる。理由：豪華景品がもらえるのであれば、参加したいと思う人が多くなり、その多くの人達に環境啓発を行うことができるから。
[内容]部屋に番号と環境について書いてある紙を、たくさんかくし、チームにわかれ、それをさがしビンゴをする。[理由]楽しみながら積極的に行動してもらい、環境についてよく知ってもらうため。
環境についてのクイズを解き、正解したらポイントがもらえるようにし、ポイントの数に応じて参加してくれた人に環境に良い景品などをプレゼントするようにしたいと思う。なぜなら、クイズを解くことで、環境について考えるきっかけにもなるし、景品があることによって参加者のモチベーションも上がり、参加する人も増えると思うからです。
環境に良い製品（プラスチックゴミから作ったものなど）を売るフリーマーケットを行い、売る時にその製品がどのように環境に良いのかなどを説明したり、環境保護にまつわるパンフレットを配ったりする。理由 フリーマーケットならば気楽に参加できるし、お祭り感覚で買い物を楽しみながら環境についてふれる事ができると思ったから。
市内を流れる河川敷を見に行き、市内の川の現状を知るイベント。普段ふれることのない川の環境を知ること、市内の川で何が起きているのかを共有できるから。
荒川の土手などで、花を植えたり雑草をぬいたり、川のクイズをしたりする。川をきれいにし、川に遊びに来る人が増えると、人と川との関わりが高まる。そうしたら、川の大切さや身近さがわかるようになると思う。また、川は県や市の境になることが多いので、さいたまの印象をよくしたりして、持続可能な町づくりもできると思う。
市内に落ちているプラスチックゴミを回収し、その回収した量に応じて、景品を変える。→さいたま市マスコットキャラクターのキーホルダーやさいたま市内で使える買い物券500円分 ※1のさいたま市マスコットキャラクターのキーホルダーは前年度回収したプラスチックゴミをリサイクルさせる。参加してくれた人にはエコバッグ（リサイクル）をプレゼントする。
<内容>荒川でゴミ拾い！拾ったゴミを使って、環境にやさしいものを作る。作った作品は、実際に環境の為に使ったりする！！（順位をつけて環境にやさしいものをプレゼントする）<理由>荒川でのゴミ拾いで環境をよくすることができるので一石二鳥だと思ったから。また、順位をつけることで環境への意欲も高まると思ったから。
1時間室内で遊ばせてその時に使った電気を身をもって手回し発電機などで電力を作って電力を作ったりすることの大変さを味わってもらう。今はスマホなどを使って電気を消費することがあたり前になってしまったので一回だけでも大変さを味わってほしい
学校一つ一つごとの別々の木や植物を植える（例：ニリンソウやカタクリなど）理由：それぞれの学校に別々の観賞用では売っていない植物を植えることで自然に興味を持つと思うから。
イベント内容：木から紙を直接つくる体験をする。なぜならどれだけの木を紙に使われているのか。どのように工夫したらいいのかなどを考えることができる。
河辺のごみ拾い。花植え。雑草抜き。農業体験⇒田植えやミニトマトを植えたり。雑草抜きで抜いた雑草をしおりにしたりする。
ビオトープをつくる。ビオトープを作ることで、いろいろな動植物が住むことで自然が守られる。
海でゴミを拾うイベントで、ゴミを拾った人はその地域でとれた売れ残った魚や商品にできなかった食べられる魚をもらえる。理由は、魚をもらえる事を知ったら魚が好きな人がたくさん集まると思ったから。また、売れ残った商品にできなかったりした魚なら魚をとった人も都合が良いと思ったから。さらに、その地域ごとにとれた魚にすることでその地域の宣伝にもつながると思ったから。
普通の商品と環境によい商品の違いを当てるクイズ大会をひらく。このクイズでどこが環境によいのかを知ることができ、これ以降の生活に役立てられるから。
数字が答えになるクイズを出し、その答えのワット数に近づけて発電（手回し発電）できるかで、答えの±1以内（要調整）だったら景品ゲット！小学生用から高校生用まで問題を用意する。（例）小学生…172-47=? 中学生…√18225=? 高校生…(sin π /2+cos0)^(15/2)=? （例2）日本の面積の内森林の割合は何？ 日本人が1日に使う水は一人当たり平均？L など 制限時間は1分 <理由>環境等への知見が深まる クイズは興味を持ってもらいやすい 普段使う電気を得る大変さが分かる チーム単位にすればクイズや運動（発電）が苦手な人も参加しやすい
アニメの聖地でゴミ拾い&聖地巡礼 リサイクル工場の見学 自転車をこぐと、スマホが充電できるサービス 環境エコポスターをおもしろくかいて注目されそうな場所におく。
自転車をこいで発電し、さいスタの電気をまかなう…ニュースで見たことがあり、楽しそうでエコにもなると思ったから。
ある一定の区間のごみ掃除をしたら図書カード500円。環境に良い商品と良くない商品の違い。自分達が環境に良いことをする利点についてわかりやすくまとめて、SNSで配信することで若者など幅広い人達の目につきやすくなる。それも、かわいいキャラクターなどが20秒くらいで説明（ショート動画など）することによっていろいろな人の記憶に残す。環境に配りよしている商品を普通の値段よりも安く売ることによって、買う人が増える。

提案内容
自転車自然巡り 最近、さいたま市では自転車に力を入れているので、サイクリングイベントの一環で、荒川などの、自然豊富な場所を回り、そこにある、普段見ただけでは分からないものを、自分達で見つける。これにより、自然への興味を生む。
テレビ番組のようにクイズに連続で正解したら景品プレゼント 理由：景品が結局一番みんなやる気でるし盛り上がる アトラクション風（自転車こいで発電したり、色々）にする 理由：楽しい フードコート付き 理由：1日遊べる
障害物をたくさんおいたレーン（埼玉半周）を走ったあと、それをひろい、もういちどはしる。 運動がとくいな人もそうじゃない人も、ゴミひろいの大切さをすることができる。どちらの方が走りやすいかをたずねたり、タイムがどれだけ縮まったか（つかれもあるので休けいしながら障害物をひろう。）を比べても面白い。
さいたま市内の駅で環境に関する謎解きプリントを配って、クリアしたらLv.2のプリントをもらって、どんどんクリアしていって、最後のLvのプリントをクリアしたら、環境に関するグッズがもらえる。謎解きプリントなら楽しく環境について学べるし、駅で交換してもらうことができるからわざわざどこかに行く必要がないので、気軽に行えると思うから。
じゃんけん大会を開いて、勝った人には賞金10万円をわたし、まけた人には30分手回し発電か木を植えてもらう 理由：10万円が手に入るギャンブル性があり、人が集まると思うし、負けた人がいれば環境によい
環境に関するクイズやミニゲームがつまった巨大めいろを作って期間限定で遊べるようにする。スタンプラリーを作って、クイズに正解し、正しい道に進めたらスタンプ1こ10ポイントがもらえるシステムにする。さらには環境に関係したミニゲームもと入れ、それがクリアできたらスタンプ1こ20ポイントがもらえるようにする。間違ってしまった場合、リタイアしたい場合はスタート地点に戻ってきてしまうつくりにする。最終的に0～30ポイントの人は環境広告ポケットティッシュ、31～60ポイントの人は環境シール、61～90ポイントの人は環境にいい素材で作ったメダル、91～119ポイントの人は環境にいい製品（石けん、シャンプーやリンスのつめかえパックなど）のなかから1つ選ぶ、120ポイント満点の人は環境にいい製品つめあわせ、など景品を考えて渡す。
イベント内容：ゴミが描かれたボールを「可燃ゴミ」「プラスチック」「ビン・カン」など種類ごとのカゴに投げ入れるゲーム。1分間で正解の玉の数に応じて何か景品を授与する 理由：分別してリサイクルの大切さを教える
ポイ捨てなど、ゴミに関係することについてのテーマパーク。迷路形式で、ポイ捨てされたごみなどがどのような道を通るのかを自分で考えながら、分岐点で曲がり、正しければ少し先にスタンプがあるのでそれをおす。ゴールに着くことで、ゴミがどのような道を通るのか知ることができる。スタンプラリーや迷路ができるので、子供でも楽しく学ぶことができるから。ゴミは近年問題になっているので、ゴミの捨て方を知ってもらいたいと思ったから。
環境に関するゲームを作り、それで遊ばせる。特に、カードゲームなどではルールを単純明快で、それでいて深く考える事ができるため、おすすめします。形式としては、部屋に入るとスタッフに席に案内され、ルールをその場で説明してもらい、スタッフを相手に遊べるといったものを考えました。
アスレチック迷路をしながら、環境クイズに挑戦する。迷路の分かれ道の所でクイズを出題し、正解出来ればゴールにたどりつける。ゴールできた人にはエコグッズをプレゼントする。 アスレチック迷路だと楽しみながら環境について知ることができる。子供が楽しめるイベントだと、行きたいと思う人が増えると思う。その上、エコグッズももらえたら、環境に興味を持たせることもできると思う。
ゴミ拾いキャンペーンを作ってゴミの分類をするためにいくつかゴミの種類のブースを作って細かくゴミを分ける、集めたゴミの種類、量によってポイントを集め一定の量たまるとふくびきが引けるようにする。ゴミの回収のブースに、そのゴミがどうやってどのように生まれ変わるのか、リサイクルされるのかを展示する。さらに検定を用意して、どのようにリサイクルされるかのクイズを作る。正解するとポイントがもらえるようにすることでブースの展示を見てくれる人が増える。ふくびきは環境に優しい物や子供が興味を引くものがないと思う。人を集めるために、ポスターをはる他、無料ふくびきけんを手渡すのも効果があると思う。
環境クイズをレベルわけして、そのレベルごとにクリアしたらエコバッグ等の環境にやさしいものをくばる。理由→レベルごとにわけないと達成感がうすい。
実さいに自分で発電できる体験を用意する！ツアー形式にして再生可能エネルギーの説明をしたあと再生可能エネルギーをつくり、作れた電気を持ち帰ってもらう。理由としては自分は仕組みもよくわかっていないし、つくることができるのかというぎもんをもっている。じっさいにつくってみることによって実感が湧くと思ったから。
畑に行って栽培の体験をしたり、山に行って広葉樹の植林を行う。また、海でビーチコーミングなどをしたりし、参加者に景品などを与える。とにかく、環境に良いことを学ぶために体験させることが良いと思った。
ゴミとかのいろんな種類を用意して、もえるごみとかもえないゴミとか、そもそもすてずに、リサイクルできるものとかに分別するイベント（ゲーム）。それに正解ができた人はエコバッグがもらえるとかして、環境にはいりよすることをたのしくできるから、ゴミの分別など、日頃から気にするきっかけになると思う。（子どもも）
自転車で発電して、ミニ列車を動かしてレースをするイベント 理由：運動もできて、勝負もできて楽しいと思ったから。
<内容>手元にはプラスチックを含んだ物、含んでない物、様々な道具を用意する。その中で日常生活でやるようなことをお題にして、プラスチックを使わずにこなしていくというもの。プラスチックを使った数、持ち点がマイナスされ、ある一定以上だと景品がもらえる。<理由>私たちは普段、プラスチックを大量に使っているの、プラスチックを使わない生活ができるとしようめいして、使用量を削減したい。プラスチックを使い捨てなどすることはとても環境に悪いから。
2チームに分れ、ゴミを拾い、より正しく分別するゲームイベント 理由…これなら分別の仕方が分かり、また、チームでやることで、人と人とのつながりも広がるから。
参加者に手回しや自転車型の発電機を体験してもらい、発生した電力を自分や家族のスマホの充電にまわすことができるイベント。 参加者に発電の大変さを知ってもらうと共に、けいたい充電をできるメリットをえさにして、たくさんの参加者を集めることができるから。ゲーム感覚で参加できて、印象に残ると思うから。
来た人々に環境にやさしい製品などをタダで送る。無料なら来てくれる人も増えると思うから。

提案内容
<内容>仕事の体験や、クイズなどをそれぞれで、ブースを用意して、スタンプラリー形式で、8つぐらいのブースをクリアできた人には、景品として、福袋を用意し、その中身は実際に職場体験をできるものや、環境に良いものをつかった、実用的な物（文房具や食器など）とおかしなどをいれる。<理由>福袋という景品があれば、いろいろなブースを楽しく体験できて8つほどなら好きなものも満足できるくらいに体験できると思うから。
環境にやさしい行動をするために、スタンプラリー形式でそのスタンプごとに示された行動をできたら、スタンプを押すという感じで全部埋まったら景品をもらうことができる。<理由>全部埋まったら景品がもらえるというシステムにすることで、環境にやさしい行動をすることに抵こうを感じなくなるから。子どもでも楽しめる。
野菜を植えて育ったら回収しに行くイベント。野菜作りの大変さや楽しさを理解してもらい、農家につく人を増やしたり食べ残しなどを減らすため。
ゴミひろいでひろったゴミの数に応じて、景品をもらえるというイベント。理由は、景品をつければ、みんながゴミをひろおうとして、結果的に、環境も自分もハッピーになれるから。
体験型のイベント　体験することで環境について興味がわくから。
イベントは迷路で、迷路の途中にクイズや実際に体験できる場所を用意して、クイズに正解したり実際に体験すると、スタンプがもらえる。そして、初級、中級、上級にわかれていてどの世代でも楽しめるようにする。そしてスタンプがたまったら景品がもらえる。理由は、迷路だと遊びかんかくで学べるし、実際に体験しないとわからないことがわかるからです。そして難しさをわかれば大人も子供も楽しく遊べると思ったからです。また景品があれば問題に正解しようとする意欲も学びも深まると思ったからです。景品はお菓子なども良いですが、環境にやさしいものや大人は環境にやさしい日用品など、子どもは手さきを器用にうごかせるように環境にかんするキットなどがいいと思います。
<内容>参加者は3，4人。環境についてのいくつかの誤りを含んだVTRを流し、誤りを見つけられたら参加者はボタンを押して、その誤りを解答する。誰も気づかなかつたらスルー。VTRは1，2回流し終わったらVTRのどこが間違っているのか、どうしたら良いのかを解説して終了。参加者には参加賞と正解数に応じた景品をプレゼント。難しさはかんたん・ふつう・むずかしいに分ける。<理由>クイズ形式にすることで楽しめるかつ、VTRで流すことによって視覚的に勉強もできると考えたから。
野菜を育てて食べてみる。理由：ごみ拾いなどの環境イベントだと、自分が行動した成果が分かりにくい。野菜を育てて食べてみることで、植物などを育てる楽しさを知り、農業などにも興味を持ってもらうことができるから。また、環境問題についても考える機会が増え、エコ活動を促進する行動が増えると思うから。
テーマ：地球温暖化による環境変化を500年先まで考える映画　これを選んだ理由は、地球温暖化はよくメディアで取り上げられるけれども、そのイメージがまだいまいちよくわからないっていう人がけっこういると思います。だから、地球温暖化の変化をわかりやすくドラマ化した映画で放映すればいいと思ったからです。
環境に優しい乗り物の試乗会など　体験ブースをつくることで、若者の興味をひけたり、環境についてよりくわしくなれると感じたから。
イベントでは体験型のブースをつくったり、また、その企画に参加すると、近くのお店のクーポンや、環境に関する博物館が一回無料になるなどの参加するメリットを作る方がいいと思う。また、私は東京に住んでいるため、さいたま市のホームページなど見たことがないため、イベントがあることすらわからないので、より多くの人に見てもらうためにSNSで有名な人に宣伝などをお願いすることで、若い人や県外の人に来てくれるようになると思う。
クイズを作り、一定数正解したら、景品として環境にやさしいものを与えたり、体験型として、参加者が環境にやさしいものをつくる場所を設ける。
スタンプラリー　理由：だれでも楽しく行うことができるため。また景品をつける。
内容：環境に関する展示場をつくる。展示に関するクイズをつくり、クイズラリー形式で参加する。全問正解したら環境にやさしいグッズをプレゼントする。理由：クイズラリー形式で景品があると子供も大人も家族連れも楽しめると思うから。
・内容：環境に関するクイズを作り、その答えをスタンプカードにスタンプを押して、スタンプラリーを行う。終わると環境に関するグッズがもらえる　・理由：スタンプラリーとクイズをすることで、小さい子供から大人まで様々な年代の人に興味を持ってもらえると思ったから。
テーマ：電気の作り方　「火力発電」「水力発電」「原子力発電」…などをブースで分け、その発電の説明などを各ブースごとに分けて置く。また、小さいその発電のモデル（水力発電や風力発電）を置き、だれでも興味をもってもらえるようにする。最後、どの発電方法が自分が環境にやさしいと思うか書き、それをしてくれた人には手回し発電機をプレゼントする。
環境クイズをかるたにしてかるた大会を開く。かるただったら絵もついて分かりやすく、楽しく環境について学べるから。
プラスチックやビニール袋が海水では分解されないということを教えるために、その場で実験をする。<理由>プラスチックを海に捨ててはいけないということを自分の目で確かめることができるため。
私は「ペットボトル回収大会」があったらいいと思います。一番多く回収できた人はけいひんがもらえ、その他もさんか者しょうがもらえます。こうしたら、多くの人がさんかしてくれると思います。
私はリサイクルされたもので物作り体験や実験が出来る環境イベントがあったらいいと思います。小さい子供でも楽しく参加できるようなイベントにし物作りをしながら3Rの大切さや環境を守ることの大切さをたくさんの人に広められたらいいと思います。日常的に過ごしているだけだとこのような大切さを身近に感じづらいことが多いので楽しいアクティビティを通して身近に感じられるようなイベントがあったらいいと思います。

提案内容
〔内容〕さいたま市環境づくりを開催！！5人以下を1グループにし、環境クイズを解き、答えがあっていたら、スタンプを貯めてゴールまで行き、環境にやさしくつくられた商品をプレゼント！！〔理由〕小さい子からお年寄りまで楽しく環境クイズにこたえられるから。家族や友達などと自由に行けると思ったから。
テーマ：環境に関するクイズ 個人で参加し、環境に関するクイズを10問ほど用意する。クイズで正解した問題数に応じてグッズを用意する。クイズをすることで楽しみながら環境に関する知識などを学ぶことができ、環境に興味を持つと思ったから。
環境啓発イベントで、クイズなどの問題に答えてもらい、正解したら、スタンプがおせて、そのスタンプをクイズに正解するたびにおせる。そのスタンプがたまったら賞品がもらえる。理由：さいたま市民が自然のゆたかさについて知り、それに向けて努力するように市民に理解してもらうため。
【内容】ピオトープの見学やさいたま市内の森林へのフィールドワーク、自然についてのクイズを実行し、自然に対する興味を持たせる 【理由】自然について何も知らない人からよく知っている人まで、様々な人々が楽しく参加できると思ったから。
<内容>手回し発電機や自転車をこげるなどといった体験ブースを設置し、それらを体験することにスタンプがもらえるようにする。(スタンプラリーのように)スタンプを全てコンプリートしたら環境にやさしい景品を配る。<理由>体験ブースを設置することで子供たちの興味を引き、さらにスタンプラリーのようなことも行うことで全てのブースを体験したいと思うから。
今、世界でおこなわれている環境保護の具体的な方法やそれを実際におこなっている国などを知ることが出来るイベントがいいと思います。なぜなら、この地球にすんでいる以上、どのように環境を守っているか知る必要があると思うからです。
テーマ：紙しばい 「自然が人間の手によって失われている！」という内容の紙芝居を作り、地域の図書館などで読み聞かせのイベントを開き、こどもに環境問題について興味を持たせる。紙しばいなら、こどもも参加しやすいと思ったから。
内容：時間を決めできるだけエコで実用性のあるものをつくる工作の大会 どれだけ使いやすい、ケガしにくい、空間と調和できるものなどの実用性の観点や従来の品と比べどれだけ二酸化炭素を削減できたか、量をポイント換算し競い合う大会 理由andねらい：消費者の観点にいる人たち自ら物をつくるとき、どれだけエコで実用性を考えるために思考力・想像力・空間把握力などの非認知能力を働かせ、頭を柔軟に使うこと。また、他者との関わる機会を増やすことにつながる。後は自分の作品のCO2削減力を可視化しわかりやすく競争意識を芽生えさせる。
自分が住んでいるところをきれいにし、またはそうじをするなどといったイベントを企画してほしい。地球温暖化について取りくめることなどを教えてくれるイベントを企画してほしい。
内容：さいたま市にごみ収集場をどこか大きい町に作って、外で拾ったごみや自分の持っていたごみを10個集めて、収集場にもっていけば日用品（けししょう品とかティッシュ、ハンカチなど）を交換できるようにする。理由：そうすれば、環境もきれいになるし、ごみを拾った人たちも、日用品をもらえてうれしいと思うから。あとホームレスの人でもごみを10個拾って持っていけば日用品がもらえるのでくらしに役立つから。※ためる量が増えることに、景品をどうかにする。つまり、10個→ティッシュ 20ハンカチ30ティッシュ40ハンカチ50けししょう品などにして、毎日ティッシュとかだと参加者も少なくなるので！！
みんなで木を植えて、その植えた数に応じてジュースやお金などを報酬としてわたす。(20本うえるごとにジュース1本など)<理由>・このようにすることで子供のモチベーションやイベントの参加率を上げることにつながり、市としても、ジュースの代金を差し引いてもギリギリ利益がでるくらい働かせることで人件費を少なくするどころか利益を得られるようになるから。
テーマ：体験型のイベント 実際にごみを分別させてあげたり、小型の電気や水素の車を走らせてみるなどの『体験型』がいいと思う。また、そのようなブースをたくさん設けて、スタンプラリーを実施することでスタンプを集めることの意欲が増し、多くのブースを回ってくれると思う。そして、すべてあつめた人には景品をあげればいいと思う。また、森で木を植える活動もいいと思う。
環境に良いことをした人、上位5名に何かをプレゼントする。プレゼントの例：クーポン券や遊園地のチケットなど 理由：何か景品があることで互いにがんばって少しでも良いことができるようにするから。
僕はパフェやケーキなどを作って、その容器やスプーンやフォーク、そして食べ物を作る畑などの話をするというのがいいと思います。理由は、自分がふだん使っているものは自然環境をこわしていつて使われているという自覚を持ち、少しでも環境問題について知ってもらえるし、SNSなどで集客すれば人も多く集まると思うからです。
森へ行き木を植えたり、植物をそだてたりする。なぜなら木などの植物を植えると、植物が光合成をし、二酸化炭素を吸収し、酸素を出してもらうことで、温室効果ガスである二酸化炭素を減らすことができ、地球温暖化を抑えることができるから。
手回し発電機で発電したり自分からいろいろなことが体験できるイベント、またゲームかんかくで遊ぶことができたりするイベント。
VRで地球温暖化（敵）とバトル！敵が出してくる問題に答えてやっつける！3問ミスったらアウト！全問正解の人には環境に優しいグッズをプレゼント！→VRという次世代のもので子供の興味をひけると思ったからです。
もっと環境問題を身近に思ってもらえるように自分の身の回りにある問題を具体的な例を挙げてしょうかいする。例えば、道に落ちているゴミは分別しないとこうなるとか。エアコンを使えばなしにすると二酸化炭素がたくさん排出されてこうなってしまうなどといったことをしょうかいする。理由は身近な具体例を挙げることで見ている人は普段の生活で自分にできることを見つけることができるから。
いろんな部屋やブースを用意して、環境の食品ロスについてや地球などの環境問題に対応した謎解きイベントを行う。そして、謎解きをクリアしたら、環境に優しいエコバックをプレゼントし、参加者には環境に関するパンフレットを配布する。理由は遊び感覚で参加することができ、さらにエコバックをもらえることによって日頃から意識することができるから。
【内容】オリジナル環境ソングのカラオケ大会！歌詞に「節電」や「SDGs」などの環境に優しい言葉や、「温暖化」、「干ばつ」などの環境問題を入れたオリジナルソング（許可を取って替え歌）のカラオケ大会を開催！来場者には歌詞カードをプレゼント！【理由】歌は若い人にも人気があり、有名な曲の替え歌を作れば人も集まりやすいと思ったから。
さいたま市植物園を開園 さいたま市内などで見られる花や木、昆虫を展示し、園内を自由に回れるようにする。また埼玉県内で採れた野菜を販売する。〔理由〕埼玉で採れる植物の種類や採れる野菜を見たりすることで、埼玉県内の自然の豊かさを知ったり、また植物園の開園は注目を浴びやすいと思ったから。

提案内容
植林の体験 植林に対する関心が低いので、少しでも多くの人の植林業への関心を集めると共に、職業でなくとも趣味として木を植えて庭で手入れをして、育てるなどのことをして自然、主に木と触れ合える場面が増えるから。
リユースできるものを持ち込んでキーホルダーなどを作れるコーナーを作ったり、バザーやフリーマーケットを積極的に行う。また、クイズを作って緑や資源の大切さなどを伝える。上はゴミの量を減らすことができるし、子供も楽しめるイベントになると思う。下は今の環境問題等を知り、そして自分には何ができるのか考えるきっかけになると思う。
環境のクイズを出して解説したり、正解者には環境にまつわるプレゼントを出したりするイベントです。環境の事を知ってもらえれば、環境への見方がかわったり、クイズなら子どもや若者の人も参加しやすいと思ったからです。
〔内容〕使えなくなった木材や、他の、使い道がなくなって無駄になってしまうものを使ってものづくり体験のようなイベントをする。〔理由〕無駄になってしまうかもしれないものを利用することで環境を守ることにつながり、ものづくり体験も楽しむことができるから。
都市部に木を植える 緑が増えることで地球温暖化のえいきょうがはじめているため少しでもへらすことで台風などのひがいをおさえられるのではないかと思ったから。
内容：地元の公園などを清掃するイベント。理由：地元や地域をきれいにするだけではなく、将来のためにゴミ問題への対策の意識を高めたいと思ったから。
実際にペットボトルなどからリサイクルをして、つくられたものに絵を書いたり、デザインしたりして、持ち帰ることができるという内容。（ジュースとかを販売してもいいと思います。）その場で売られているジュースなど、日頃からよく目にするペットボトルなどからリサイクルされてつくられたものという印象付きやすいと思うし、絵など楽しめる要素を加えることで、勉強感がなくて、小さい子も楽しめると思うから。持ち帰れることで思い出作りにもなるかと思います！！
ゴミ拾い ポイ捨てをしている人がやることによりポイ捨てをしていた人がしなくなりそうだし、誰でも簡単に出来、参加しやすいと思ったから。
僕が行ってみたいと思う環境イベントはごみの減量と分別です。昨年から地球温暖化のえいきょうがあり、海や周りの地域にごみがたくさん落ちてるのでごみの減量と分別は大事だと思います。
ワークショップをひらいたり、木材などを使ったけんちくぶつのせつけいをかんがえたりするのがいいと思います。
全国各地の公園で、環境祭、環境デーを開催する。公園全体がブースのようなものに囲まれ、それぞれのブースではそれぞれ色々な「環境」について学べるようになっていて、沢山の人が環境について学べるようになっていきます。また、どこかに人がかたまらないよう、スタンプラリー方式にします。そして、全てのブースをまわって、スタンプをもらえた人は、オリジナルグッズ、または、お菓子や文房具がもらえます。理由は、環境についてのお話や実験を1つの部屋で沢山の人が見るよりも、見る人に選択肢をあげて、楽しんでもらえるうえ、効率がいいからです。また、スタンプラリーをする。スタンプラリーが完成したら賞品をあげるの、少しでもこの環境について知り、興味を持つ、良いイメージをつけてほしいと思ったからです。
SDG sに関するクイズを難易度で分けて幅広い世代にSDG sや今世界中で起こっている環境問題を知ることができる。また、解答者が一人、司会者が1人、問題は今、世界でおこっている環境問題やSDG sに関連しているものだけ
SDG sや近年の環境問題を考えさせる、いろいろな世代が交流できるようなイベントがよいと思う。様々な世代が交流するためには子どもやお年寄りなどでもできる簡単なミニゲーム的なものをたくさん並べて今の地球の現状やこれから地球はどうなってしまうのかなどのことを学んだり体験できるとさらにいいと思う。学校などでの団体的な活動なども効果的で他校との交流もできると参加したいと思う。
テーマ：おもちゃのしゅうり 子どもが遊んでいるうちにこわれたおもちゃを買いかえるのではなく、しゅうりして使えることができれば環境にもいいと思ったから
さいたま市の議員や県議会議員などを連れてきて環境をよくすることのメリットとデメリットについて話し合う会を開催する。このイベントで議員たちがしっかりとしたことをやってくれるとさいたま市民の皆さんの信頼を得ることができるし、市民によりそった政策を本気でしようとしているかということも考えることができるから。しかも市民の代表が環境啓発イベントで説明すれば少なくとも市民の頭の中に残るはずだから。議員さんなら大丈夫！だから行こうと思う人が出てくる。
再生可能エネルギーのでき方の模型を作る。子どもたちに分かりやすく再生可能エネルギーについて教えられ、見ててもおもしろそうだから。また、未来の世界の動画などを作る。「環境に優しい未来へ」のようなタイトルで作ることで、大人も子供も環境について興味や関心をもってくれると考えたから。このようなイベントを行うことで環境について誰もが関心を持ってくれればと思います。
展示スペースに木でできたものを展示し、(木製のベンチやストローなど)実際に現在使われているプラスチック製のものを展示し違いやメリットなどを書いて木製のものを日常的に使おうと思ってもらえるようにしたら良いと思う。あとは大きなモニターなどで木から製品を加工しているところや木材を伐採している動画をうつして環境破壊が進行してしまっていることを来場者に伝えたら良いと思う。
埼玉県特有の生物に関するクイズや、その生物を守るために県がしている事などを大宮駅などで展示したらいいと思う。〈理由〉・人目につくから
生物の名前のクイズや、さいたま市にいる生物の観察会などを行って、市民の自然に対する関心を高める。クイズの景品は、環境にやさしい、木製のマグネットなどが良いと思う。〈理由〉自然に対する愛をみんなが持てば自然を大切にすると考えた。そのためには自然にふれることが大切だと思ったから。
埼玉県の環境についてのクイズ大会をやったり、有名な森などのツアーを行い、参加者に何かしらについて考えさせる。〈理由〉有名な森を通して、環境について考えさせることによって、意識することができると思う。

提案内容
海の浜辺をモチーフにしたポイすてされたゴミ(ニセモノ)を、30秒以内に決められた数のゴミを拾えたら、環境に良いエコバッグや水筒などをプレゼント。〈理由〉砂浜にすてられたゴミは海や風で流れ、アフリカなど発展途上国などに間接的な害を与えている。それを知ってもらうと同時に、エコバッグや水筒をプレゼントにすることで買い物のときにビニール袋を買わなくていいし、ペットボトルを買わなくていいので、ゴミがへると思う。
さいたま市環境テーマパークを開催！SDGsのすべての問題をプログラミングで解決してスタンプラリーをどんどん埋めておかしや勉強道具をゲットしよう。〈理由〉これからの時代は一人一人が環境が悪化していくことに気付く前にAIなどの技術をプログラミングで操作して生活をより豊かに出来るようにしたいから。そして、これを通して思ったことを実行できる力を養いたいから。
植林 1人1つ植物をうえる。理由 植物は光合成をするから、酸素を生み出すことに直結し、野菜であれば、うえた野菜をとって食べること、食物を育てることに対する楽しさを覚えられる可能性がある。
一年を通して行われる作物栽培イベント。月に一度集まって一年間で一つの作物を育てることで達成感を得ることが出来るから。
イベント 自分の好きな花を植えられるイベント 理由 みんなが楽しめて同時にいとりどりの花が植えられて、とても活気のある街になると思ったため。花を植えると環境にもよく、大人も楽しめると思ったため。いろいろな花を植えることで知識の向上にもつながる。
「内容」環境にやさしいエコ博物館 紙のストローやコップなど、環境にやさしい物などが展示された博物館を建て、人々にエコについての関心を持ってもらう。「理由」博物館なので、歩きながら見れるため、いちいち物の説明を聞いたりすることが無くなる。集中力を切らさずに見れるので、エコについての説明や物が記憶として残りやすい。そのため、エコについての関心を持てるとし、エコについての考えを深めることもできると思ったからです。
謎解き形式でさいたま市の環境にやさしいスポットを巡っていくというもの。クリアしたものは、環境のグッズと環境の教材をプレゼントする。(年齢制限なし)この理由は、みんなは外に出て新しい感覚を感じられて、環境と謎解きというどちらかが好きであれば参加でき、年齢に制限もないので、老若男女が楽しめるというものであるから。さらに、クリアした人には、もっと環境への知識を持ってもらうことができる。
同じ距離を基準としていろいろな乗り物(電車など)CO₂(二酸化炭素)の排出量を調べてみる。「出来るだけ、公共機関を使いなさい。」と言われても、CO₂の排出量がどれくらいかわからないので、一つ一つの乗り物を調べて「やっぱり、公共機関を使った方がいいんだな。」と分かるようにしたかったから。自動車(特にエンジン車)は、とてもCO₂の排出量がすごい多いと聞いてとても驚いた記憶がありました。
自分で苗木を植えたり、環境クイズ、手回し発電機を回せる場所など設けて、それを回ってスタンプラリー式で行い、スタンプ数相応の景品をもらえ、代わりにスタンプが全然もらえなく、場所を回れなかった人はバスに乗って回れなかったところを見て、自然とふれあえるようにする。ちなみに、スタンプラリーの時間制限は2時間。(理由)都心部では、緑が減っており、自然と触れあい、大切さをまなべ、たのしめるような場が必要と思ったから。
環境の問題を身をもって体験できるイベントに行きたいです。(理由)身を持って体験することで自分がどのように行動すればいいのか、今このような大変なことになっているんだと知ってもらえることもできるので今の現状を分かるだけでも知ってもらえれば環境の保全につながると思ったから。
人々が海に捨てたペットボトルがどこにたどりつくのかの動画をつくる。理由はそうすることで子供たちがちゃんとゴミ箱にゴミを捨てるということ、再度、確認させられるから。
内容 ゴミについてのクイズを出して、それを全問正解した人には、エコバッグや軽い金属性の水とうなどの環境にやさしい物を景品としてプレゼントし、ほかに10分くらいのゴミについての動画を流す小さな映画館みたいな物がある。理由 クイズは気軽にやることができ、それによって環境問題となるゴミへの理解を深めることができ、動画によってクイズでは埋められない重要な知識を埋めることができるため。
・さいたま環境クイズ大会内容：地区で数個のブロックに分け、決められた場所でクイズ大会を行う。制限時間は30秒。参加者は、○か×かのクイズに答える。○×の領域があり、○だと思ふ人は○のゾーンに、×だと思ふ人は、×のゾーンに分かれ、お手付きは3回で、最後まで残った人が、優勝となり、最後まで残った順に、金、銀、銅賞でそれぞれプレゼントをおくる。参加者全員に参加賞。理由。賞品もある楽しそうなクイズ大会なら、誰もが来たいと思うと考えたから。
内容 環境の事やSDGsの事を知ることができるようなカルタなどのカードゲームをする。理由 カードゲームなら楽しんで環境の事を学べるから。
・再生可能エネルギーへの関心を高めるために石油(灯油)、石炭(レキセイ炭や亜炭など)、ガス、(プロパン)を燃やした時のエネルギー(gあたりのカロリーなど)で発電できる電力、そして、その時発生する二酸化炭素の量も見せる。(できればその量の二酸化炭素でどんな害が起こるか)最後にそれらを再生可能エネルギー(太陽光など)でまかなったさいのメリットを見せることで再生可能エネルギーへの関心を高める。
街を探検しながら、環境に良い場所、悪い場所を探す！友達と3〜4人でグループになり、町中にある良い点や問題点を見つめ直す。合計10個見つけたら全てメモした紙を提出し、景品がもらえる。理由：今の街の現状が分かり、これからどう取り組みればよいのか分かんと思う。探検しながら”私も気をつけなくちゃ”となるし、その後メモを回収することでみんなの意見を集計してデータ化できると思う。街についてよく知る機会にもなる。体験型で楽しみながら学べる。
・環境破壊についてアニメのようにする。アニメなら子どもでもわかりやすく、楽しく見る事が出来るから。・再生可能エネルギーについてまんがにする。まんがならいつでも読むことができるから。
ゴミ拾いイベントです。まず、その理由としては、ごみ拾いをすることによって景観が良くなり環境によいことです。また、地域全体で参加をするというふうにすれば、その地域の活性化が期待できます。地域全体で参加をすることによってその地域の課題に全体で気づけるようになることができます。
市の人といっしょに木の箱や木のおもちゃなどいろんなものをつくったり、かざりつけたりすること。理由は実用性のあるものだとな人々の注目になるし、ものをつくることだと印象に残りやすく、思い出になるから。また小さな子どもから大人まで幅広い人々が参加できると思ったから。
僕が行ってみたい環境イベントはプラスチックを再利用して作ったものや古着などを売ったり、買ったりすることができるイベントです。そのようなイベントをすることで売る側は物をむだにせず使うことができるし、買う側は欲しいものをいつもより安い値段で買うことができ、買い物感かくて楽しめるイベントだと思います。

提案内容
〈内容〉簡単な迷路を作り、分かれ道では環境に関するクイズを設置する。正解の道を進んでいくとゴールにたどり着ける。不正解の道を進んでしまっても、クイズの解説が見れるようにする。ゴールすると環境にやさしい景品がもらえる。〈理由〉1人でも複数人数でも楽しむことができるから。また、迷路をプレイしながら環境クイズで環境について知ることができるから。不正解でも解説を見れて、悲しくなれずに理解できると思うから。
イベント内容：子供から大人までもが花を植えられるイベント。企画している会が花の種などを買って来て、そのイベントの参加者は1人3粒ずつ種を植えることができる。参加者には参加賞としておし花のしおりをもらうことができる。理由 環境をよくするにはまず緑というものを人々が身近に感じられるようになる必要があるため、木を植えることよりはかんたんでやりやすい花を植えたらいいと思うから。
ピオトープをみんなで作り、木や生き物を育て、命の大切さや五感を感じることができる。また、ピオトープを作ると、自然環境が今どのような感じかわかる。(理由)生き物を育てることで命の大切さも学べる上、自然との関わりを身近で感じることができる。また、みんなで交流を深めることができる。
・ペットボトルキャップの回収 理由 世界の子どもたちを救うことができるから。(ワクチンなどになる?)内容 ペットボトルキャップを回収する キャップを集めた人(一世帯ごと)に賞品を渡す。(例)30個～飲料1本 80個～エコバッグ(中) 120個～エコバッグ(大)(120個以上の人はどこらでも可) 300個～：ハンディファン(夏)、充電式カイロ(冬)、エコバッグ 10個～：エコなんで賞(賞状)
季節の有名なもの(さくら、紅葉など)の見学会を開く。理由…季節ごとの有名なものを知ることができ、その観光名所も有名になり、経済も回るようになるから。
〈内容〉環境に関するクイズを出して、正解するごとにスタンプをおしてもらえらる スタンプラリーにして、全てのスタンプがたまったら人には記念品をわたす。 〈理由〉クイズなので、楽しみながら環境を学ぶことができることや、スタンプラリーでクリアに近づいていることが目に見えて実感することができるから。
つみきなどをつかって仮の家を建てる参加型イベントを開催。家がどのようにすれば丈夫になるかを考えることでよりゆたかな想像力を身に付けることができるとおもったから。そして、一番丈夫につくった人は埼玉でしかもらえない限定グッズを渡す。
迷路のようにして、体験型、クイズ型の環境について考えるような事をし、クリアしたらスタンプをもらってゴールをめざす！→理由：講義型より体験型などの体を動かす方が楽しいと思うから。またゴールを設定することでやる気が出ると思うから。
(内容)自分で電気を作る体験や、車が出すCO2の量を知れるような実験をする。(理由)環境への配りよの仕方を知らなかったり、車が出すCO2の量を知ることができると、車の使う場面を考え直すことができる。また、体験や実験を行うことで、楽しみながら環境について考えることができ、環境のことに興味を持つことが増えていくと思ったから。
排気ガスがたくさん出るガソリン自動車への対策として、電気自動車がある。その電気自動車に対して、大人にも子供にも興味をもってもらうために、電気自動車の会社に協力してもらい、電気自動車のしくみ、構造などの展示に加えて、実際に電気自動車のしくみを利用した、小さい子でも乗れるようなミニカーを作って、すごさを実感してもらったりする環境イベントを実施する。それに加えて環境問題と排気ガスの関係についても説明をして、環境問題に対する関心をもってもらおう。
〔内容〕環境にやさしいことを選たくしをかけた問題でプリントを作ってくばり、全てとけたら指定の場所にもっていき、正解とてらしあわせる。全てとけていたら環境にやさしい木材で作ったグッズなどをわたす。〔理由〕問題ならかんたんにとけ、景品があるとやる気もでて環境について考えるきっかけができるから。
色々な場所に住んでいる人々が集まり(子供)自分の住んでいる場所のプレゼンをする。また、1つの大きな会場を小分けにし、5～8人単位で行う。理由…これを行うことでプレゼンする側の語彙力そして説明する力をつける練習の場になりこれらの力の上達につながる。そして聞く側も自分が知らない町について知ることができるため、とても良い。また1つの会場に色々な人々がくるため、会場がある町の地域活性化につながることも期待できる。また運営にかんしては地方の役所管理の下で行うのが良いと考える。
クイズ大会をひらいて、優勝した人に環境にやさしいけいひんをわたす。クイズだったらたのしい
SDGsや過去にあったMDGsの具体的な取り組みに関して映像やプレゼン用資料などで説明するイベント。理由：SDGsやMDGsなどがおそらく一番有名だから。
風力発電などの再生可能エネルギーの発電の様子を模型などで再現して伝える。理由：発電のメカニズムが、分かりやすく面白く学ぶことができると思うから。
祭りみたく、屋台(食べ物の屋台を置き、フードロス等の話をしてもらうことでエコにつなげる)やミニゲーム(あまり議題に関係ないもの。→ミニゲームのスペースに議題の張り紙を張り、ミニゲーム待ち時間に見れるようにする)
今話題の有名人をイベントによんで有名人といっしょに体験できるようなプログラムをくみこんで、クイズに参加して正解した人にとくべつなグッズをくばるなどして中高生の関心をひくようにする。
環境クイズを出す。これで環境への理解を深める。
休日の昼ごろに公園などで虫やトカゲなどとのふれ合いを通して環境の大切さを伝え、子供たちにこの生物たちの危機などを伝えるイベント。
ミニゲームみたいな感じで、環境問題を出したりして人通りの多い大宮などでやる。
さいたま市の環境の取り組みについて、プロジェクターを用いて説明する！！参加してくれた人には環境に優しい洗ざいなどを配布する。

提案内容
クイズ大会を大宮で開いて参加賞をあげたり優勝者にはそこそこ豪華な物をあげる。クイズの内容は埼玉に関するクイズなどを出題する。理由は、埼玉についてもっと知ってほしいから。
クイズ形式で環境問題に関するクイズを出して、正かいいしたらかんきょうグッズとかそれに関するグッズをもらえること。→たのしくて、みんながかんきょうもんだいについて理解できると思う。場所：埼玉のどっかの有名な場所。
クイズ形式のワークショップをつくって、正解したらオリジナルグッズをもらえる。（駅前の広場のようなところで）理由はグッズをもらえると、モチベーションがあがるから。
クイズに正解したら、賞金をGETできるようにしたらよい。大宮でそのイベントをやる。
川岸などでごみひろいをし、とったゴミが多い程すごいけいひんがもらえる
体験ブースやシミュレーターなどを使ったイベント　体験することによってよくイメージがわからない事も実感できると思ったから。
ゴミ拾いの時に、ゴミを拾った数で何か商品を変える。（たくさん拾った方がごうかな商品）
人気のアニメやゲームとコラボして、けい品もそのアニメと関連させる
都会で参加型の環境イベントをやる。見るだけより参加型の方が心理的に興味がわくと思うから。
地域のいろいろな所に環境に関する豆知識などスタンプを設置し、スタンプラリーをする。クリアしたら環境に関する景品。環境について知れるし、さらに町のいろいろな場所も知ることができるから。
ゲームやクイズ大会など見たり聞いたりだけでなく体験型のイベントにして、休日のショッピングモールなどの大型施設にあると友達や家族と立ち寄りやすいと思います。ゲームではスコアをつけてその日のランキングをつくらせたりすると何度も挑戦したり友達と競争などいろんな楽しみ方ができると思います。
スタンプラリーのような形でやればいいと思う。ちょっとしたけい品を用意すれば環境のイベントをすべてまわれると思ったから。
どんなものにプラスチックが使われているのかの展示→分別をゆるくやっている点があるため。ゴミの分別を真面目にやるための第一歩だと思う。
ゴミ拾いしたら1万円…野外ライブとかの後とか
ゴミ拾い大会をする　1番たくさんひろった人に賞金30万円
ごみのリサイクルイベント　自分の出したごみが何かの役に立っていると思うと、ポイ捨ても少なくなると思うから。
動画クリエイターの中でも若い世代に人気な人を呼び、クリエイターと共に環境についてのゲームや体験を行い、最後にその人のグッズをくばる。しかし、グッズは再利用したペットボトルや落ちばなどを使いキーホルダーのようにする。
「SDGs」について（達成するために行っていることや、どのようなものがあり、自分たちにできることなど）をクイズにしたものを行ったらいいと思います。大宮駅などの行きやすい場所です有名な観光地やみんなが知っている場所にクイズを設置し（かんたんな3たく問題など）正解だと思った番号のスタンプを紙におす。10か所くらい。クイズを設置し何か所まわったかによって、けいひんをかえる。（おかし、ヌウのクリアファイルなど）理由は、けいひんがあったらやってみようと思うし、有名な場所にクイズを設置すればそこに行っただけにスタンプラリーをやっているなどということもありえて、参加者が増えると思います。しかもスタンプラリーなら手軽にできると思うからです。
ごみ拾いをして、一番多く拾えた人は賞金30万
楽しみながら、環境についてくわしく知れるようにしたほうがいい。楽しければ、子供も参加するようになるから。
わか者のあつまるところにいけばいい。ごみひろいでゴミにポイントをつけてきょうそうさせる。1位の人にしょうひん。

提案内容
さいたま市環境テーマパーク開催
屋台のせっち。
参加すると良い物がもらえるようにする。クイズを出す。
参加すると物品がもらえるイベント
ゲーム大会
・森林の中を歩く 実際に森や林の中をあるくことでいろいろなものをしれるから ・地震を体験できる 地震を体験していると実際おきたときにすばやく行動できるから
もういらなくなったものを再利用して新たなものを作り出すワークショップみたいなイベントが良いと思った。その理由は環境によいことを楽しくやることで、良いイメージがつき日頃から環境に良いことができると思ったから。
<内容>夏休みの宿題にみどりの日記を入れる。<理由>環境のために動いたということを書きたいという気持ちができるよいい行動をする人が増えると思うから。
テーマ：ごみ拾い ごみを拾う。街の方（新宿、渋谷など）でごみがよく散乱して汚いし、あまり心が晴れないから。
内容：さいたま市の環境のスマホアプリをつくって、そのアプリで環境についてのクイズを解き、クイズに正解したらポイントがもらえる。環境イベントで、その貯めていたポイントで物が割り引いて買える。環境イベントでは環境に優しい物を売る。理由：ゲーム感覚で毎日環境について楽しく学べるから。
内容：ピオトープ作り体験 理由：ピオトープは生物たちの生息地になって環境にやさしい上、なにかを作る体験は子供がイベントに来やすいので、たくさん人を呼びこめるから。
マイクロプラスチックを集め、ペットボトルの中にマイクロプラスチックと色水とラメを入れドームを作る。その下に手回し発電や自転車発電でできた光を下にしくと、きれいなドームが作れる。<理由>これなら小さな子どもでも安全に作れるしマイクロプラスチックやラメや色水を入れる過程で楽しめ、手回し発電や自転車発電でも楽しく電気が作れるから。そしてそれらを終えたあと、マイクロプラスチックがどのようにまた、どうして作られるのかを説明しその楽しさの裏側を話すとなお良いかもかもしれない。
手回し発電機を使って光を作るようなことをする。<理由>実際に環境にやさしい発電機を使ってみることで実感できると思ったから。
ゴミの分別を学ぶために2人1組で1人はいろんなゴミの絵と名前が描かれた紙が大量にあるブースから5枚選んで取ってきて、もう1人はその5枚の紙を、例えばプラスチックやアルミなどと書かれているケースに分別する。参加してくれた人には、環境に良いグッズをわたす。理由は、環境とか抽象的な事よりもゴミとか具体的な事の方が普段から行えそうだし、だれでもグッズをもらえるから人が集まりそうだから。
〔内容〕環境についてのアニメをながす。〔理由〕子どもにも環境について分かってもらえそうだから。
内容：環境に関するかるたをやり、そのことを知ってもらう。1組4人 1番最初にとった人がかち。勝った人はプレゼントをもらえる 理由：ゲームをやっているようになる感じになり覚えやすい。プレゼントをもらえるからまたこっちにきてくれる。
実験のウミガメにクラゲに類似したビニル袋を食べさせて摘出する 理由) 埼玉県は海がないので海の環境問題にあまり実感が無いと思ったので実際に海で被害をこうむっているウミガメの実験を通して環境に対する意識が高まると思ったから。
環境の事をテーマにした謎解き 東京メトロや都営地下鉄が行っている謎解きは毎年参加者が多く、人気なので環境についても謎解きをするともみんなが興味を示すと思ったから。
ゴミ拾い大会。ゴミ拾い大会は時間を決めてその時間内で多くのゴミを拾ったチームの勝ちという単純なルールです。野球部でチームに分かれてゴミ拾いをしたのでやってみたいと思ったからです。
<内容>地球に優しい環境を疑似体験できるスペースを設置する。<理由>体験できる所があればより環境について理解できると思ったから。
<イベントの内容>環境保全のための活動の体験ブースを用意して1つ1つにスタンプラリー形式でスタンプを置き、全部まわったら何かもらえるようにする。<その理由>スタンプラリーにすることで楽しみながら体験でき、活動の内容も知ることができるので良いと思ったから。
内容：ごみ拾いをポイント制で競い合う。ごみの種類ごとにポイントをつけ制限時間内に集められたポイントで順位をつける。上位の人には環境にいいグッズをプレゼント。理由：ゲーム性やランキング性で競争心や楽しむ心をだしてごみ拾いをしっかりしてもらうため。

提案内容
環境について実践的に学べるように、体験型のイベントにすると小さい子とかでも行きたくなると思います。
電気を節約する方法やどんなところを節約できるかを図でみたり体験するイベント。電気代などがあがっているので節約する方法が知りたいから。
プラネタリウムと星空の観察 理由）星空やプラネタリウムはただ見るだけでもきれいだであるが、プラネタリウムは室内なので温度の調整ができて星空の観察は夜空を見上げるだけなので必要以上に個人個人が会話することもないので周辺の迷惑にもなりにくいから。
環境に配りよしたコラボグッズ売り場を設ける コラボすればそのキャラクターが好きな人がくるから その人だまりがなんだろうと人がたくさん来てもうける あと再利用リサイクルバザーをかいさいする
内容：環境問題に関するクイズを出題、解いた人は環境に関するグッズをプレゼント！そして次の問題に進み、最終問題を解いた人には何かいいもの（おかしや、特別なグッズなど）をプレゼントする。問題は少しずつ難しくなる。理由：遊び感覚で問題を楽しめるし、少しずつ問題を難しくしていけば面白いと思うから。
子ども達がエコになることを実際に体験してもらう→1. 実際に自分でやってもらう方がしっくりくる。2. 楽しく体験できる。
テーマ：動物を環境はかいから守ろう！ 環境はかいにつながる人間の行動と動物へのえいきょうを学び、ゲームなどで子どもたちを楽しませ、環境はかいにつながる行動をさせないようにする。
〔手作りエコキーホルダー！！〕何かの工場で物を作った時に余った木材やプラスチックなどを使ってオリジナルのキーホルダーを作る（木の土台をあらかじめ作ってそこに木材やプラスチックをはる） 大人たちは土台を使わずに1から作るチャレンジに挑戦してもらう。＜理由＞余った木材やプラスチックを使うことによってゴミを減らすことができ、環境にとっていい。また工作を好きな子供にとって環境のことを知るいい機会になるから。
「さいたま市の家の敷地を1㎡ずつもらって、みんなの家に植物を植える」たくさんの家がちょっとずつ植物を植えてさいたま市に緑を増やすことで大気環境を改善させる。また、環境について身近に考えてもらうことができる。1人1人が行動できる。
謎解きの様な感じでイベントを行う街の中で環境についての知識を増やす。クイズに答えてそこから環境等にまつわる場所へ行くのをくりかえす。同時にその街のことも知れる。複数人参加もOK！クイズだけでなく、実際にその場所へ行き、目で見ることによって印象に残りやすく、分かりやすい。なにより、楽しみながら勉強できるのが利点。
さいたま市の環境と取り組んでいる事例を紹介する。さいたま市の川や空気、土、電気等がどのような状況にあるかをパネルや実物を用いて来場した方に紹介する。さいたま市の環境のなかで課題があるものは改善するためにさいたま市として取り組んでいる事例を体験できる形にして来場者に理解してもらう。＜理由＞さいたま市の現状を理解することで、来場者がエネルギーの使い方に意識したりできるから。
クイズに正解したらポイントがもらえて（ポイントカードにシールをはってあげる）最後にもっているポイントに応じて景品をあげる。 理由：クイズにすることによって環境について考えることや興味をもつことができると思ったから。
植物や生物の面白いシーンや神秘的なシーンをとってそこから考えて脱出クイズをとく。なぜなら脱出ゲーム形式であれば体と頭を使ってたのしめるから。例）オジギソウの葉が閉じるシーンからオジギソウの生態について調べクイズをとく。
内容…①クイズなどを実施し、正解した方などに記念品などをプレゼントする。②なにかとコラボする。 理由…①こどもなどが来る ②そのファンの人が来る
さいたま市に関係のある若者に人気な人を集め、環境の事について考える。若者を集めるために有名人を出して、そのファンの人が環境の話聞いて関心を持ってくれると思ったから。
環境に配りよした再利用した商品を出品してその商品も子どもに人気が出るような物をつくる。買ってくれた人には環境に配りよした物を一つプレゼントする。
さいたま市エコ体験会を開催する。手回し発電機をまわしてどのくらいのことにつかえるのか可視化して展示したり、世界で行われているエコなことを展示して体験させたりする。＜理由＞体験することでより実感がわくと思ったから。
〔内容〕環境にエコな商品が売られているショッピングセンターを作り、商品を適性な価格で売り、出品者売り場として栄えて、環境の大切さを出品者と消費者に知ってもらう。＜理由＞ショッピングセンターにしまえばお客さんやお子さんにも来てもらえるので幅広い世代から環境について知ってもらえると思う。
環境に良い商品を売る店をいろいろなところに作り定期的にイベントとして開催する。理由はいろいろなところで環境について考えられることができるから。
8人でグループを組み、昆虫探しをする。お題の昆虫が見つかったらどこにいたかを解答用紙に記入し、クリアできたら記念にメダルをプレゼントする。理由：自然についてたくさん知れて、他の人と関わりをもてるから。
環境に良い素材を使った生活用品を展示したり、環境が空気で汚れたりしたら地球がどうなるのかを体験できるイベントを開きすれば良いと思います。なぜなら、まだ多くの人が環境を守る大切さの実感がわかないと思うので、環境について物を使って表したり実際に体験出来るイベントにすることで、関心を持つ人が増えると思うからです。
ワークショップ…廃材でなにかモノをつくるワークショップを開く 理由…ゴミのリサイクルのことを知れるから

提案内容
ゴミになるはずのものを使ったものづくり。理由…お金がかからないから。ものづくりはみんなが楽しめるから。
(イベントの内容)さいたま市で人気キャラクターの環境イベントの開催！チームで参加し(2～5人)30秒間手回し発電機で発電した分の人気キャラクターのグッズをもらえる(理由)子どもがよここびそうだから
ゲーム形式の環境イベントをやる。大人から子供まで楽しめるから。
SDGsについてより深く知る。
地球温暖化が進んだ世界をたいけんでできるせつをつくるといいと思います。理由は、地球温暖化を軽く考えている人の意識を変えられると考えたからです。意識が変われば、せつ電をしたり地球温暖化を止めることができるのではないかと思ったからです。
埼玉の自然を知ろう。西部の秩父・日高地域の自然の様子や人間との共存の様子を知れる映像やパネルを用意する。埼玉の鉄道会社の環境活動を紹介するパネル。東部の都心部であるさいたま市などの緑化運動・環境活動の様子を紹介する。クイズで正解したら景品をプレゼントする。
ダンボールやプラスチックで遊具などを作って公園を作る。一から新しい公園を作るよりも環境にいいし、費用も安くなるから。小さな子どもたちが安全にできるように室内遊園地のように使わなくなったふとんを使ってけがをしないようにする。
水についての環境イベント。水がどのような所でどのように使われているかをビデオで見て、その問題点を考え、今後どうしていくのかを話し合う。理由は、動画を見て、話し合うだけなので簡単に参加できると思うから。単純なのでわかりやすいと思うから。
老人ホームや幼稚園・小学校の人を連れて、植樹・植花(?)を実施！(理由)老人ホームにいる人に体を動かしてほしい。小さい子に環境意識を高める。
木を植えるイベントを企画する
人気のアニメ・漫画とコラボし、環境にまつわるスタンプラリーを行う。スタンプがたまったらグッズと交換する。理由：人気のあるアニメなどだと若い層でも参加できるから。スタンプラリーとかだとゆるく楽しくできるから。
(内容)地域で植物を育てるイベントを開く(理由)全国でこれをすればたくさんの植物を育てることになる上、興味を持ってくれる子供が増えるから。
環境問題を配慮した博物館や科学館を設置し、子供から高齢者まで楽しめる施設を作る。理由：楽しめることで環境について興味が湧くから。子どもから高齢者まで全ての人に伝えることができるから。
環境に優しいものだけを使って遊べるものを作るイベント。また作る材料に関しての問題を出すのがいいとおもう。遊べるので楽しく小さい子も興味を持ちやすいと思うから。
環境を学べる体験型の施設を作れば良いと思う。また、駅などの人が多く集まる場所で環境についてのワークショップをすると良いと思う。なぜなら、人が多く集まる場所や、そのような施設をつくると、たくさんの人に環境の事を伝えることで人々の環境についての意識が高まり、環境にやさしい町を作ることができると考えた。
(内容)環境を救っている仕事の体験場を作り、すべてを体験したら、景品をゲットできるような体験場。(理由)もしかしたら環境を救っている仕事の中に、いつか試してみたい仕事もあるかもしれないし、楽しく体験できて記憶にも残るし、景品をもらえると一石三鳥だから。
せんぶう機動かし競争 2・3グループでどこが一番最初に自転車をこいでつくった電気でせんぶう機で動かすことができるか競争する(理由)ゲーム感覚で競争しながら電気を作る大変さを知ってもらい「つけっぱなし」を減らせると思ったから、また、若者が積極的に参加してくれると思ったから。
電気自動車と普通車(多くの二酸化炭素を排出するもの)の違いや、火力発電と風力発電、地熱発電の違いなどを目に見えるようにしたり、実際に体験できる施設をつくる。その中にゴミ拾いの体験スペースをつくり、集めたゴミの量(重さ)によって、環境によいグッズをプレゼントする。理由：実体験ができるスペースや目に見えて分かるスペースがあることで、より環境保護の大切さを感じることができると思うから。また、ゴミ拾いの体験など、自分にできる環境保護のための取り組みをすることで、その人自身のためにもなるうえ、楽しんで活動が行えると思ったから。
(内容)さいたま市環境テーマパークを開催！(理由)ゲーム感覚で環境について楽しく学べるため。
ゴミが多いのでゴミ拾いをする。町のイメージが悪くなるから。
町にすてられたゴミを拾う。その町へ対するイメージがくすれるから。

提案内容
(内容)環境のことをよく知ることができる体験型ゲームを置く。(理由)ゲームならどんな年齢の人でも楽しむことができ遊びながら環境のことを知ることでもあるから。
自然満きつ会 家族や友達同士で参加 県が整備している森や林にみんなで苗を植えたり、あみなどを自参し、虫を捕まえたりして、自然を楽しむ昆虫大会などを行う。参加賞で自然に優しいエコバッグをもらえます。
ペットボトルや使い捨ての物を使った、地域でのお祭りを開きたい。リユース・リサイクルにもつながるし、楽しそうだから。
人気のアニメや漫画とコラボし、環境に関することを体験できるブースや(環境啓発活動などの 博物館や体験で学んだことをまとめられたら、グッズと交換など)博物館をつくり、スタンプラリーを行う。・理由・人気の漫画やアニメなどとコラボすれば、環境について興味のなかった人も、興味を持つきっかけになるかもしれないから。
しせつができると若者にもそれが知られて、興味を持つ人が増えると思うから。家族、友人達などでしやすいと思うから。
内容…ごみの分別クイズ オ×クイズをしたり、あらかじめ用意したごみ箱に自分で考えて実際にすてる。景品はリサイクルして作ったオリジナルTシャツ。 理由…ごみを分別する力を身に付けることで環境のことを考えるきっかけになると思ったから。
ゴミ拾いをして、拾った量だけ景品がもらえる。理由：景品があるとゴミ拾いも進むと思ったから。
3〜4人で、木について学ぶVTRを見るイベントを開いて、将来、木に優しく接するようにして、環境に優しくする。
電気で動くゴーカートの大会を開催する。大人用のスピードの出る本格的なカートも用意し、子供は、スピードを制限して行う。優勝者には木で作ったトロフィーを授与する。このイベントは、大人も子供も楽しむことができる上に、電気自動車(エコカー)などにも関心を持ってもらうことができる。
環境破壊についての講義を開き、子どもを中心に環境問題について考える。理由…環境破壊について、まずは知ることが必要だと思ったから。
植林を実施し、参加者にも種まきセットを配り、家族内での植林もしてもらう。
イベント名：古紙から再生紙を作る。 理由：コンロ等でせんいを取り出し、すくだけなので非常にかんたんな上、作ったものはおのおので利用でき、リサイクル促進にもなるため。葉書サイズにすると使いやすいと思う。
ペットボトルで作った服やリサイクルしてできたものをてんじする。てんじした物がどのようにしてつくられるのかを動画で簡単に説明する。説明が終わったら、まとめのクイズを出して、みんなで楽しむ。クイズが一定数合っている人はリサイクルによって新しく出来たものを景品としてもらえる。
小さな子どもからお年よりまで楽しめる、クイズに答えてスタンプを押していく、スタンプラリーをする。全てのスタンプを押したら、環境にやさしい製品を配布する。
ゲーム感覚で環境について学べるもの。楽しく学べることができるから。
実験をする 実験を通して、環境に与える被害を感じるため。子どもも親(大人)も参加できるようにして、たくさんの人が楽しんでまなべるイベントになると思う。埼玉県民の日に県庁で同じようなことをやっていた気がする。
埼玉県の学校に、通う学生、埼玉県に住む学生を対象に、ゴミ集めの企画をたてたい。友達も作れる。
日本は世界有数の森林国で豊かな生物多様性を持っており、埼玉の公園にも、たくさんの木々とそこに集まり暮らす生き物たちがいる。そのような森林や木々の大切さ、役割を楽しく学び、より森や生き物たちを身近なものにするためのイベントが楽しそう。・木材を使ったワークショップや公園ツアー・地球にやさしいキッチンカー、地元のサステナブルなお店が集めた広場・気を使った工作
私は、地域のごみ拾いイベントを提案します。理由としては、幅広い年齢層の人が参加することができ、小さな子供が環境に関心をもきっかけにつながるからです。また、その際、マスコットキャラクターを用いて子どもでも参加しやすくし、参加賞にエコバッグをプレゼントし、環境にやさしくくらしていけるからです。
リサイクルされたものを使ってオリジナルな小物が作れるところ。(理由)リサイクルされたものをどうやって活用するかをまなぶきっかけにもなるし、実際に使うこともできるから。
町のごみ拾いやおちばはき・種うえなどを集まって行くと共に、決められた量以上をすれば、アイスやジュースをもらえ、さらに集まった人の内でも競い合って上の人にも景品を渡すというイベントが良いと思いました。理由は目標や報酬があるとモチベーションが保ちやすいし、そのような活動の楽しさや自分なりの楽しみ方などを知れると思ったからです。決められた量以上と上位数名に景品を渡すのは、ここを超えれば絶対にもらえるというのがあった方がはかどると思うし、目標を超えた後としてもさらに上を狙うこともできるからです。また、景品を例えば集めたあき缶をせいいれんしインゴットのようなものにしたものなどにするのも面白いと思いました。環境関連の景品が面白いと思います。

提案内容
(内容)環境に関する絵のかるたを作り、(例：二酸化炭素などという言葉がでたら地球が熱くなっている絵を取るなど)スタッフと対戦。勝つとエコバックなど環境保全に役立つものがもらえる。(理由)絵かるたの場合、一度作れば印刷して何枚も作れるうえに、そのかるたを売り、売り上げを環境保全のための費用に充てられるため。
最近、川沿いにあるゴミなどが目立つため河川敷でのごみ拾いなどをお年寄りと協力してできる機会をつくるべきだと思います。
環境について身近に感じてもらい、また、興味を持ってもらえるようにするために、休日にゴミ拾いや花植えや植林、さらにはクイズをやるといいと思う。出来れば、イベントに参加してくれた人に、リサイクルから作ったものや環境に悪影響を与えないものをプレゼントしたらいいと思う。
・環境問題を解決するために、個人ができるようなことをのせたパンフレットや新聞、ポスターなどを応募するイベントを開いて、優秀な作品は展示したり、賞をあげたりする。(小学生～高校生)それをつくった人も環境について考えられるし、小学生や中学生も環境について考えているなら自分たちもいいという感じで大人も環境について考える機会をもてると思います。
さいたま市のお祭りのときに、環境破壊についてのポスターなどをはり、多くの人に見てもらえるようにする。または、環境について、10分ほど学び、その後の環境テストに全問正答したら、何か、ものをあげる。
・ソーラークッカーをつくって、そのつくったソーラークッカーで目玉焼きなどの料理を実際に作ってみる。(理由)晴れた日にしかできないが、太陽光で料理ができるという太陽光の可能性を教えることができる。また、自分で作った料理だから思い出に残りやすいから。
フラワーロードを、皆で作るイベント。緑道の横などを花壇や生垣に、花の種をまいたり、定期的に水をやったりすることで、緑道を歩くことが楽しくなったり、良い香りがするようになったりすることが期待できる。また、咲いた花で花たばを作ったり、リースに活用したりすれば、市役所などで売りだすことができ、イベントへの関心を向けることができると思う。
自然観察イベントを行ったらよいと思います。以前、山登りのツアーに参加した時、野鳥や野草を教えてもらい、楽しかった記憶があります。山でなくても公園や河辺での開催も可能だと思うし、自然を大切にしたい気持ちがあればゴミ問題も解決していくと私は考えるからです。
地球のためになること・ペットボトルからキーホルダーを作ってみるなどといった、“自分で地球に良いことをして何か作る”ような体験をすることができると楽しそうだなと思います。これをするによって、CO ₂ がどうなる、などといった、説明があると、より「地球のためになった!」という感覚が味わえるのではないのでしょうか。このようなささいなことから、環境問題に興味を持ってもらうことが大きな一歩になるのではないかなと思いました。
ペットボトル等のプラスチック製品のリサイクル商品の販売+回収→イベントの費用のもとをある程度とれる、買った人の、環境に対する意識の変化が見込めるのではないかな/プラスチック製品の回収
地域が行っている、環境をよくするための取り組みをまとめた動画の途中にクイズを入れ、正解すると進めるようにして、速さを競うイベント。クイズがあるから、たくさんの人に動画を見てもらえ、人々に取り組みを知ってもらえるから。
(環境保全ボランティアスポーツ大会)・様々なボランティア(ゴミ拾い、植樹、道のそうじ等)を組み合わせるゲーム(スポーツゲーム)を作り、その大会を開く。・景品にはリサイクルされたペットボトル・服などから作られたものを配布する。理由：そのままの内容をきくとつまらなく思われてしまうボランティア活動も、スポーツに変えることができたならみんな楽しめるものになると思うから。
僕は、神社やお寺などで協力して、御朱印めぐりのプロジェクトをやった方がいいと思います。なぜかという、近年、神社やお寺などに人がなかなか来ないという事態が全国で発生していましたが、それを解決したのが御朱印ブームだと言われているからです。なので、各々の寺社で限定御朱印を作ったり、今現在も続いている「与野七福神」のようないくつかの場所をめぐるというイベントも、お正月以外にもやってもいいと思います。なので、神社やお寺の活性化や、地域の人が気軽に集まれる空間を作るためにも、御朱印プロジェクトをやった方がいいと思いました。
さいたま市にある自然が豊かな場所をまわっていくイベントが良いと思います。さいたま市は都会ですが、その中でも美しい自然環境はあると思います。そこへ訪れていくことで、環境の重要性を学べられるうえに実践的にしていくので楽しいと思いました。
(アイデア)自分が身近に感じた環境問題と、それに対する実際行われた対策や自分たちにできること、こんな取り組みをしてみたいという考えなどをスライドにまとめて、市のホームページなどに応募してもらう。(市民の子供に) (理由)その中で特によかった作品を作った人には、実際にイベントを開催してプレゼンしてもらうという企画、自分で調べるという活動を通して、子供に環境問題についてより深く知ってもらえるだけでなく、調べる力やプレゼン力を育てられるため。
・酸性雨の被害を身近に感じられるイベント。酸性雨によって、魚や歴史的建造物に大きな被害があることが広まれば、火石燃料の消費を抑えられるから。・(プラスチック)ゴミの回収(景品付きで開催する。)身近な所から環境を改善していくことで、少しずつ緑を増やしていったり、生き物が暮らしやすいようにしていく。
・制限時間内に、ゴミの仕分け(分別)をする。リサイクルによって作られた環境に優しいものをプレゼント!! 分別について詳しく知ってもらい、家庭内で実践してもらえるようにするため。・木を植える(植林)好きな植物を持って帰れる一木を植えることを促進するため。・環境に関するパネルを作る。クイズを紙に5問くらい作り、渡す。環境パネルを見て答えてもらう。環境によい、魅力的な物をプレゼント! マグネットとか市のキャラとかはあまり…
内容…スタンプラリーのような形式で環境に関するクイズを行う。環境クイズを公園や施設の様々な所に設置し、スタンプラリーのような解答用紙を配り順番に解く。クリアすると環境に優しいグッズをプレゼントする。理由…ゲーム感覚で環境について楽しく学ぶことができ、環境に興味を持つきっかけになると思ったから。通りかかった人の目にもとまりやすいと思ったから。親子で楽しめるイベントなのではないかと考えたから。
環境の科学イベントを開く。前例があるように、科学館や博物館にはある程度人が集まると思うので、その簡易版みたいなものをやればよいと思う。(科学フェス、ちょっとした実験etc…)子ども人気もある。それで、理論的に何が、環境にとって悪くなるのかを理解してもらう。何もわからないで言うよりは、効果的であると思う。
(内容)30分間程度、参加者に対して環境に関する授業のようなものを行います。その中で、クイズを10問出し、合計正解数に応じて、環境にやさしい景品を配ったり、授業の一環として、環境にやさしいもの(水力発電や風力発電)のモデルなどを用い、仕組みを理解したりします。(理由)授業をすることによって環境について学ぶことができ、その中でクイズ形式にすることで参加者のモチベーションを上げることができるからです。またモデルを用いることで、理解しやすくなるからです。

提案内容
市の防災イベントだと、ほとんどが家族連れで、中高生あたりの人達はあまり来なそうだから、イベントというよりはフェスよりのにぎやかな感じにすれば(音楽を流すなど)通りかかったときに「ちょっと行ってみようかな」と思うと思います。イベント内容は、楽しみながらもしっかり頭に定着するようにしなければならぬため、今までのイベントに付け加えて「もし対策しなかったら最悪～なる」みたいな感じで危険についての説明をすれば嫌でも頭からはなれないと思います。VRで何も対策していなかった場合のシミュレーションをするなど。
スタンプラリーを実施して、参加してくれた方に、環境保全をPRする商品を景品とする。
ビデオを見たり、体験ができる場を設けることが大事だと思う。ゲーム形しきにして、解決策を子供達が練れるようにする。イベントに参加して、楽しんで終わり、だともったいないので、環境問題について書いてある絵本やマンガのオススメを渡す。キャラクターなどを作って、身近に感じてもらう。
家庭からでた牛乳パックやTシャツ、ペットボトルキャップなどのリサイクルできる不用品を各自で持ちより、牛乳パックの紙すき体験やTシャツリメイク、ペットボトルキャップの工作などができる企画です。理由は、小さいお子さんでも楽しみながらリサイクルを学べると思ったからです。
たけのこ堀りや、川遊びなど、実際に自然にふれて楽しみ、自然のゆう大さに気がつかされるようなことを通して、環境を大切にしていこうことへの実感を持たせるイベント。
環境に配慮した施設を見学するツアーで、環境にやさしい風力発電などを間近で見てもらい、エコバッグ等の自分たちでもかんたんに取り組める環境を守るためのものを景品として配る。また、環境に配慮した農園で農作業体験をするなど、環境とどう関わりがあるかを理解してもらいながら、貴重な体験をできるようにする。
環境に関する五・七・五を募集し、「環境かるた」をつくる。これの大会をひらき、入賞した人には環境にやさしいグッズをプレゼント！参加者にもなにか環境にやさしい参加賞が配布されるようにする。
さいたま市にある各学校でガイドに学校周辺の自然環境について学ぶという授業をする。そのことによって、より自然を身近に感じられる。
VR体験→環境問題が悪化している海などの魚になりきってみたり、北極の氷がとけていくのを見るホッキョクグマになって、生物にとってどれくらい深刻か実体験できて、環境問題がよくわからない小さい子どもでもわかりやすい。
<内容>さいたま市環境スタンプラリー開催！体験できるブースでミッションをクリアして、スタンプをゲット！そのスタンプを集めるスタンプラリーに挑戦！スタンプラリーをクリアして、環境にやさしいグッズをプレゼント！<理由>僕も普段スタンプラリーをしていて楽しいと感じているため。子どもや若者も参加しやすいイベントになると思うから。
コンビニエンスストアと協カー箸・スプーン・フォーク・レジ袋をどれももらわなかった人に、飲み物無料券配布
近くにある公園や道路でゴミ拾いをするといいと思います。なぜなら、説明されたり、講義されても、実感が湧かないからです。そのようなことをするよりも、自分の手を動かして、行動するというのが大切だと思ったからです。そうすることで、実感が湧いたり、他のことや細かいことにも、気付くことができます。また、普段関わらない人と関わることで、交友関係が広がったり、他のことを学べたりするからです。
・チームを組んでそのチームで時間内にどのくらいゴミを集められるかゲーム！→チームをくむことで地域の中で交流ができる。→競争することによってたくさんのゴミがあつめられる。→競争することによって楽しいので、人がたくさんあつまる。・子供だけでなく大人も参加できる環境クイズ→普段大人は子供用のクイズを見ているだけなので、内容も簡単だし、参加できないが、子供と大人クイズの内容を変えたら、どちらも楽しめると思う。
環境イベントのマスコットを作ったり、人気キャラクターなどとコラボしたりする。そしてそれらの限定グッズを作り、スタンプラリーの達成報酬や、環境クイズの参加賞や、何問以上正解でもらえるようにする。また、いろんなブースにそのキャラの看板やさつ影スポットを作るとよりいいと思う。理由は、そのキャラが好きな人は、積極的にイベントに参加してくれることが期待されるから。小さい子供でもあきずに楽しめると思うから。しかし、あまりにもキャラを多く作ると、本来の目的から外されたり、見る人が不快に思うかもしれないので、そのあたりはいい塩梅をさぐり、いろんな人が楽しく見れるようにすることが大事だと思う。
道路などに落ちているゴミを制限時間内にどれだけ集めることができたかを競うゲームを企画すればいいと思います。なぜなら、それをするだけで、子供たちが楽しめるうえ、こんなにもゴミがあったということに気づけ、ポイ捨てをやめることにつながると思うからです。さらに道路がキレイになるからです。あと、イベントを開催することで、テレビなどが注目し、町おこしにもつながるし、その地域の結束力が強くなると思います。
環境に関する何らかのクイズを出してそれに答えられたらスタンプがもらえる。そして、すべてのクイズが解けてスタンプが全部もらえたら、プレゼントとして何か景品がもらえる。理由:参加者は景品がもらえ、さらにクイズに答えることで、環境問題について知識を深められ、出題者側も、人々に環境問題を知ってもらえるから。
イベント名)みんなで植えようGREEN PROJECT 内容)駅周辺や市役所周辺などに草木を植えるスペースを設置して、市民全員で木などの苗を植えて世話をしていく。そうすることで、林業の大変さを知り、関心を高めることができ、また立派に育った樹木は都市部の温暖化を抑える重要な役割を担うことができます。また、小学生向けに木ではなく、花などのもう少し小さい植物を育てる体験などがあるといいなと思います。
<内容>映像上で車をドライブして街の中の環境に配慮した工夫を見つけていく。 <理由>楽しみながら環境への工夫を学ぶことができる。また、この手のゲームは子どもに人気である。
エコを学ぶ系のイベント。ひまな子連れをメインの対象にとり、こどもでもわかりやすいようなのをやる。子供の方がエコ系のをやりがりそうだから。イベントでフリーマーケットをやる。市がやっているという理由で安心感があると感じる人が多いそうであるし、安い(比較的)のでそれだけで来る人が増え、自分もいらぬものをフリーマーケットに出して金をもらえる可能性を見て、そういうのをやる人が増える可能性があるから。
さいたま市環境パズル大会を開催！個人で参加し、予選→本線→準々決勝→準決勝→決勝へと進むことが出来れば、参加賞、四等賞、三等賞、二等賞、一等賞をプレゼント！参加すれば、必ず良いものが手に入る大会！(理由)子どもは、みんなパズルが好きだと思うので、子どもの好きなことと環境改善を合わせていくのが、みんなの望んでいることだと思った。

提案内容
環境にやさしい材料を使った、ワークショップをやるといいと思います。内容は、リサイクル素材や間伐材などを使って、雑貨や小物を作るというもので、その過程で使っている材料がどうつくられ、どんな環境問題があるのか学んでいくことが出来るようにしたら良いと思いました。なぜなら、身近なところから環境について知ることができ、作った小物などを使うたびにそのことを意識できると思ったからです。また、楽しみながら学べると考えたからです。
古紙や再生紙などを用いた折り紙講座。古紙や再生紙などの環境への影響が少ない紙を用いることでそれらへの関心を高めることができると考えられる。また古紙や再生紙などと折り紙は様々な世代が手軽に楽しむことができると考えられる。その講座内で古紙や再生紙などや他の環境への影響が少ない製品などのメリットを伝えることができる。
・子供を対象とした植林活動体験(参加した子供には缶ジュースとお菓子を配布)子供たちに環境への興味・関心をもたせ、緑の大切さを学ばせる。 ・公園の掃除 落ち葉拾い、ゴミ拾い、オブジェクトの修理や塗装クリーン活動で、心地よさ、大切さを知らせる。
・環境に優しい町をさいたま市の一部に作り、町を見学できるようにする。環境に優しい町の良さを知ってもらい、市民の環境に対する意識を変えることができると考えたから。市民に、環境に優しい町の工夫を知ってもらえるから。
さいたま市と民間企業が連携した環境にいい移動方法を使ったツアー 理由：さいたま市は整備された交通網もあり、環境への配慮も進んできている。また、大宮公園などの自然や鉄道博物館などの観光資源も多く、近くの市町と協力すれば丸一日規模のツアーになると思う。また最近自分の最寄りの駅で見かけるEV、水素バスや、それぞれの場所で行っている環境へのとりくみをつたえと、より一層環境への意識も高まると思うから。
火力、水力、原子力や再生可能エネルギーなどの各発電方法についてのブースを作り、(原子力は危険だからしょうかいのみ)実際に簡単な実験を通してそれぞれのメリットデメリット、環境に与える負荷などを楽しく学んでもらう体験。理由…家族でも子どもだけでも楽しんで学べるから。・体験や実験があると、立ち寄ってくれる家族は多いと思ったから。また印象にも残りやすくなるから。
子どもでも乗れるような小さなバイクに乗り、用意されたコースを走行する。そして、乗ったことで発生した二酸化炭素量を視覚化してこれがどれぐらいの量なのかということを説明する。(例：人体にどんな影響をおよぼすか、など)理由：実際に体験するということはやはり大切だと思うので、子供は普段乗れないバイクを運転することで楽しく、環境について学ぶことができると思ったから。
(内容)環境について 映像などで学ぶ。(例えば、このまま森林破壊をしていくと、何年後にはこうなってしまうなど)その後、実際にシミュレーションなどで体験できる(例えば、これをするとかCO ₂ を削減できるなど)コーナーをつくる。(理由)映像を見るだけでは、あまり実感が湧かない人も多いと思うので、体験できるようにすると、もっと環境について知れると思ったから。
子供から大人まで楽しめるようなイベントに行きたい。イベントで実体験コーナーと壁に貼ってあるポスターを見るコーナーをつくり、両方ともできるようにする。また、入り口でクイズが書いてある紙をもらって、ポスターを読んで答えるような形式にしたい。ポスターを読んでいく中で新しい知識を得たり、関心をもてたりと、環境に対する意識が変わると思う。
たくさんの人が良く使うところに花壇をつくったり低木を植えたりする。また、その活動を地域の人と一緒にやる。そうすることで地域の人と楽しめると同時に、環境づくりもできるから。さらに植物が増えることで見栄えも良くなりイメージも良くなると思うから。実際に和光市や朝霞市ではそのような活動をしたことがあると聞いたことがあり、とても良い活動だと思った。この活動を小学校や中学校で行ってみても良いと思う。
広い場所に、ポイントの数字が書いてある小物をばらまき、3分間でそれらを拾い、たくさんのポイントをかくとくできた人には景品、参加者の全てに参加賞を上げる。というイベント。道ばたや公園でゴミ拾いをする人の苦勞を知り、ポイ捨てをしないことを呼び掛けることができるから。また、拾う前と後の違いを比べて、その重要性を知ることができるから。
古着でものづくりー着なくなった服などを持参して、バッグやほかの服に生まれかえらせるイベント。家でリメイクしようとしても、ひつようなざいりょうがなかったりして、なかなかできないから、地域でそのような、イベントを無料で開催したら、立ち寄ってくれる人がいると思ったから。自分だったら参加したくなると思う。
環境問題については色々なところで取り扱っていて、たくさんの人が知っていると思う。けれど、実際に何か環境のために行動したことがある人は少ないと思う。なので、行動の意識がつくようなイベントがあるといいと思う。例えば、無駄にされた資源などでできるものを展示するのがいいと思う。ポイ捨てされたごみの量を視覚化したり、無駄になった電気や水でどれだけのことができるかわかりやすくしたりするのがいいと思う。なぜなら、展示なら少し余った時間にふらっと立ち寄ることができるからと、身近なものを例にして見せることでエコへの意識が高まると思うからだ。
町中にスタンプラリーを設置して、環境についてのクイズに答えられたら次のスタンプ場所が分かる形式にする。全て貯まったらステッカー等プレゼント→スタンプラリーなら楽しいし、クイズを入れることで楽しみつつ学べると思ったから。
モビリティショーのような展覧会(?)を開く(電気自動車をメインにする)・さいたま市で会場が用意できるから・多くの人が興味を引くから(車の利用者が多いため)・近年、電気自動車を作ることが盛んだから・アメリカでも電気自動車が推進されているから・コンセプトカーを各企業で出し、電気自動車の安全性や利便性について話す。
自転車のような形の発電機で、ポンプ(のようなもの)を動かして、水を移動させる。その移動した水の量に応じて、何か環境に配慮して作られたものが得られるようなイベントだと良いと思った。また環境に関しての知識をつけてもらうために、企業が出展して出し物をする、といったものがあると参加者に知識をつけてもらうだけでなく、企業のPR競争にもつながると考えた。
手回し発電などで実際に発電させ、発電量に応じ環境グッズを渡す。その後、一ぱん的な家庭でつかわれる電力と比較させて、普段どのぐらいの電気を使っているのか、またそれを作るのにエネルギー(力)がどのぐらい必要なかをわかりやすくする。
ゴミ袋を来た人に渡して、ゴミ袋が埋まるまでゴミ拾いをさせ、集め終わったらその人にエコバッグなどの環境保全に役に立つグッズをあげる。スクリーンをかべに写して、現在の環境問題を子どもでも理解できる映像を流す。花だんを作って子供に水やりをさせる。
植林や、ゴミ拾いなど、緑を多くするとか、落ちていたゴミを拾ったりすればいいと思う。自分が住む地域の自治会はゴミ拾いなどを行っている 打ち水…夏にすると気化熱をうばってすずしくなるから キャンプ…都会ばっかりいても緑が多い場所に行って、自然の良さを感じさせる。 環境アート…小・中学校に環境アートなどを書いてもらう
地震や火災などの災害がおきたときに備えて、どんなことをするといいのか体験しながら学べるイベントがあるといいと思う。普段から防災を意識できれば、何かあった時に少しでも被害を減らせる。また、公園などで自然に触れあいながら自然の大切さを学べるイベントがあるといいと思う。

提案内容
水素発電をそく進するイベント、そのイベントには、水素風船を配ったり、水素発電を体験してもらったりする。なぜかという小さいところからこういうものにふれていた方が良いと思うし、このイベントがあれば自分も行くと思ったからです。あと、環境に優しいグッズを配ったり、すぐ参加できる場所にあったりすることが大事だと思いました。
花や木を植えるイベント。(理由)・植物を栽培したりするのは多くの人が楽しむことができるから。・季節によっていろいろな意見を楽しめるから。・植物が育ちそこから種ができれば、お金をあまりかけずに次につながれるから。・地球温暖化の原因となる二酸化炭素を減らせるから。
・川辺の近くで魚捕りや、釣りなどのイベントを開き、その際にゴミ拾いの用ゴミぶくろを一人一枚配布する。そうすることでゴミ拾いに対する意識を高めつつ、釣りなどの楽しい行事を行って地域の活性化も図れる。・区役所などの人目に付くところに環境に関するクイズなどを展示しておく。そうすることで子供から大人までが楽しんで環境について理解できる。
市全体でゴミひろいイベントを定期的に行う。ある定めた大きさのゴミ袋を参加者に配り、その量、枚数に応じて景品、例えばおかしや日用品などを配布する。そうすればゴミ拾いへの意識が上がるようにする。また1つポイ捨てをすることで、年間で環境へどれほどの影響をもたらすのかを、人を呼んで講義してもらう。
さいたま市環境イベント期間を開催する。イベント期間では期間中には定期的に市全体でゴミを拾いゴミを拾った量に応じて景品をプレゼントする。また期間中に1度フェスティバルを開催し、そこでは条件に応じて景品がもらえる様々な体験できるブースや、環境啓発に関するポスターまた、景品がもらえるスタンプラリーを行う。景品を様々なことにつけることで普通はやりたくない人ややる気が起きない人でもやりたいと思えるようになり、環境についても興味を持つと思ったから。
イベントの内容 森に入って自然がどういうものか学び、海へ行ってどのように海と森がつながっているかも考える。また海や森でのごみを拾ったり、人々を呼びこむために写真をとったりしてポスターなどを作成する。理由①海とか森に行くのが好きなのですが、あまり行く機会がなくまた、海や森の楽しさを知らない人たちもいると思い、このようなイベントを機会に知ってもらえたらと思ったから。②最近イベント、特にSDGsなどに参加してみたくて海でのゴミ拾いなどだったら取りくみやすいと思ったから。
ごみ拾いのボランティアをしながらスタンプラリーをまわり、スタンプが全部集まった人や拾ったゴミが多かった人に環境にいい物(エコバッグ)の景品をわたす。(理由)・ごみ拾いをしながらだからまちもきれいになる・スタンプラリーやクイズなどのゲーム要素があった方が小さい子も参加しやすいと思った。
・環境に優しい車を子どもを乗せて親が運転するイベントを作る。(小型の車でゲーム形式に取り組む)・プラスチックからできた服等、普段使うものを環境に配慮した形で売る。・イベントの各地点でクイズをやり、正解したらスタンプをもらえ、最後までスタンプが貯まったら商品がもらえるというスタンプラリー形式(理由)・実際に体験した方が興味を持ちやすいし、ゲーム感覚で楽しむ事ができるから。・身近に環境に配慮されたものを見るだけで印象に残るし、自分でも考えてみようという気になるから。
さいたま市食品ロスステマパークを開催。食品ロスの事をよく理解することによって少しでも、食べ物の貴重さを知る。(戦時中や今の貧困な国を例に挙げて)そうすれば、食品ロスを少しでも減らせると思ったから。
県のいろいろなフォトスポットで写真を撮って、その写真の裏面にスタンプを押して回り、5枚で県内のレストランでの割引券等と交換できるスタンプラリーがいいと思います。なぜなら、写真で使用する人が写真に写っている人と同じか判断でき、フォトスポットを県にとって大事な場所や魅力的な所に置くと、他県からの移住者が少しでも増え、県の活性化や、地域の生活水準の向上にもつながると思うからです。
ゲーム感覚で楽しむ、体験型。小さい子供は実際に体験したり、ゲーム感覚で環境を学べたらやりたいと思うから。
イベントの内容は環境に役立つものやいい物を作ってそれを売る事。理由は自分達で作るから環境について知ることができるし、売るという将来役に立ちそうな能力を使えるから。イベントの内容は自分の発電機を作って夜に町を明るくすることです。理由は発電機などは災害用にも使えて夜の町を明るくすることによりみんなを明るくさせられるから。
公園や道路や駅近くでゴミ拾いを行ったり、グループワークで「環境を良くするためには、私達は何をすればいいのか」みたいなテーマを与えて、みんなに考えさせるイベントを設置したりした方がいいと思います。ゴミ拾いのボランティア活動を私は小学生の時にやったことがあって、とてもやりがいのある事で、みんなにもやってほしいと思いました。グループワークを通して、みんなは環境を大切にしようとする気持ちをもっと深めることができるのではないかと思います。
(内容)時間を1〜2時間程度設けて、何人かでグループを作り、さいたま市内から拾ったゴミの数に応じて環境に優しい物(エコバッグ、紙ストロー等)をプレゼント(理由)ゴミも減るし楽しそうだから。
手回し発電機を作り、その後に色々な再生可能エネルギーについて学ぶ。手回し発電機を作って、自分が作った手回し発電機と同じような仕組みでエネルギーを作る風力発電がある事を知ると他の水力、地熱等にも興味を持つと思ったから。
環境に関する設備の設置(体験できる方がよい)を行います。実際に見たり体験したりすることで環境について親近感が湧くと思います。また現在の環境問題などについて自由に論じる事のできるスペースを作るのもいいと思います。人の意見を聞くことで自分の考えがより深まると思うからです。子どもはクイズを行うことでもっと環境に関心を持ってもらえると思います。
町のゴミ拾い。当番を決めて行う。最近、道路や公園、駅のホームなどにたくさんゴミが落ちている。プラスチックが海などに流れ環境問題となっているため、それを少しでも解消したい。また、ゴミ拾いをする事で同じ地域の方々と交流する機会が増え、良いと思う。たくさんゴミを拾った人に景品を渡す等すると楽しくゴミ拾いができる。
さいたま市の環境センターで、どのような工夫を燃やす際にしている(さいたま市でも行っているかは知りませんがスラグ化とその活用等)それを大きくアピールする。例えばさいたま市立の小学校で歌を作ってダンスをして動画投稿サイトにあげる等(鳩ヶ谷の御成道サンパのような)そのように、大々的に宣伝をして、注目を引いたうえで、ポイ捨てなどの行為を啓発できるような体験型のイベントを行うことが良いと思います。例を出すと、2024年11月の大宮総合車両センターで行われたゴミ収集と分別の体験のようなものです。
賞味期限間近の食材や埼玉県産の食材を使い、料理会を開き、できた料理を、自分たちの分だけでなく、地域の人にも配る。これにより、フードロスと地産地消等の環境問題に貢献できる事だけでなく、料理に関心を持ってもらうこともでき、また、地域のコミュニケーションにもつながる。なぜこれを提案するのかというと、授業でやった調理実習が楽しかったから。
市役所やその周辺で、環境について学べるブースや、環境に配慮した食べ物を販売するイベントをするのがいいと思う。その理由は、単に環境について学ぶのは子どもにとってつまらないから、食べ物を販売するお店やお店があれば、環境に配慮するとはどういう事なのか、身近に感じる事ができるから。また、有名な著名人等を呼ぶのも良いと思う。その理由は、環境イベントの集客にもつながり、著名人が来るなら、行こうという人も増えるから。

提案内容
・小さな盆栽や花壇、ハーバリウム等を作る（無料）理由：体験型にすることで子供が楽しいと感じ興味を持ってもらえる。無料だったら誰でも気軽に参加できる→ポスターなどで予告すると人が集まる！（小学校に配布する等）→そこで使ったお花等を売ったら利益につながるかも・クイズ大会を行い、当たった人はその町の商品券５００円分あげる。理由：楽しく学べるの代表格 商品券だったら町の利益につながる、大人も参加しよう。
実際に体験できると記憶にも残るし、楽しめると思うので手回し発電機で発電してその電気でテレビをつけるイベント等が良いと思う。
「プレイ・アンド リユースプログラム」（名前は適当です）私は色んな「環境について学ぶこと」と「使ったおもちゃを再利用する事」をイベントに訪れた人に行ってもらいイベントを提案します。まず、「環境について学ぶこと」とは、他の環境活動を行う団体と協力しおもちゃやミニエコカー等「物として残っていく」商品のワークショップを開く事です。この「商品」は、例えばマイクロプラスチックを使った楽器とか、木で作る竹とんぼとかで、子供にとって「楽しく遊べるもの」が良いです。この時、ワークショップに参加した時、作ったものに加えこのイベントでのみ使える「ポイント」がもらえます。そして、得たポイントともう使われなくなったおもちゃ（特撮ヒーローの玩具とか）を交換できる、というのが私が提案する「プレイ・アンド・リユースプロジェクト」です。（理由）鹿児島に住んでいた時に「環境未来館」という場所でこのような内容のものが行われたのですが、その時たくさんの子供が訪れていたので、私はこれを提案します。
一か月間花植えや、クイズ等様々なイベントを市内で行い、参加した数に応じて様々な環境グッズをもらえる環境イベント。（理由）短い期間に様々な場所でイベントを行うことで、たくさんの人が参加でき、環境への関心が高まるため。
さいたまスタンプラリー大会 さいたま市の環境に関係する場所に問題を書いたお札を何本か置いておき、その中から参加者は１本引き、制限時間内に解き、正解すればスタンプが１つもらえる。間違っていた場合はスタンプはもらえないが、再挑戦できる。問題は難易度１と２がある（１は簡単、２は難しめ）。スタンプカード１０個のスタンプ全てが埋まったらゴール地点に行き、そこにいるスタッフに見せる。そうすれば環境に優しい賞品がもらえるかも…？
スタンプラリーをやる。スタンプがある所にそれぞれ環境についてのクイズを用意。全て揃ったら賞品ゲット等。理由：体を動かしてゲーム感覚でやれるので、小学生などには人気があるのではないかと…。その際、大々的に告知を行わない限り人は集まらない気がしますが…。
親子や友達などとペアになり、２～３人で食品ロスに関するクイズに挑戦する。正解できたらお菓子等がゲットできる！理由は、小さいころから、ご飯を残す癖がついてしまうと健康にも良くないし、ご飯を作ってくれるお父さん、お母さんや、給食を作ってくれる方たちの思いや苦労、食品ロスによってどんな悪影響が出てくるのかについて、少しでも考えてみて欲しいなと思ったから。
グリーンカーテン作り→きれいにできた時嬉しいし、実際に使えるから。生ごみを再利用した肥料を作った畑仕事→花が咲いたり、実が出来たら達成感を感じる事が出来、環境にも良いから。いらない木材やプラスチックを使った小物づくり→作るのも楽しいうえ、完成したら嬉しい、またエコだから。
ゲーム感覚で、可燃、不燃、ペットボトル…等（色などで分けるとわかりやすいかも）の分別を学べるようにする。ただ分けるだけでなく、輪投げ、ボール当てなども取り入れながら楽しく学べる環境を作る。ゲームが終わったら、実際に本物を分別して、正解したら環境に優しいエコバッグ等をプレゼントすれば、参加者が増えると思う。
様々な環境問題を抱える色々な観光地を巡るツアーイベント このツアーイベントを通して、楽しく観光地を巡りながら、環境問題という問題の大きさも学べる。
料理をした後に余った食材で何が作れるかの料理教室。フードロスの問題を少しでも解決できるのに加えて、料理の腕も上げることができるから。
スタンプラリーを開催し、１つ集めるごとに環境に優しいプレゼントがもらえ、たくさん集めれば集めるほどプレゼントがより環境に優しくなっていく。
環境に対してのクイズを色々な所に設置して、その解答用紙を参加者に配る。そして、そのクイズの正答数に応じて賞品を配る。…ゲーム性があって、小さい子も楽しめると思うから。
環境に関するクイズを用意して、それに正解したらスタンプがもらえる。スタンプを集めるとその数によって景品が異なるようにする。例えば、１番スタンプが多い人には、毎日使える環境改善グッズを渡す等、イベントにきた様々な人たちに今の日本や世界の環境の現状を伝えられるようなクイズにすると良いと思う。また、他にも、さいたま市が今行っている取り組みについて実際に体験できるようにしても良いと思う。クイズを解いたり、体験する等、楽しく環境を学べることで印象にも残って、１つの思い出になってほしい。小さい子供でも来れるよう、イラストや着ぐるみ等を用意して、どんな人でも参加できるようにしたい。このイベントを通して少しでも環境に興味を持つ人が増えて欲しい。
最新機能の電気自動車を展示させて、大人の場合、運転体験させること。リサイクルショップを開催する。
発電ができる自転車イベント施設に設置し、溜いだ量毎に環境に優しい製法で作った商品を渡す。
環境イベントの案としては、「体験没入型」のものが良いと思った。具体例を挙げると、VR機器を使って狭い空間の中でも様々な環境破壊の様子を知ることのできるブースを作ったり、環境が壊れていく様子を目で理解できるミニチュアを作る、といったところだと考えた。さて、次はどうやって人を集め、多くの世代の人々に環境破壊の現状を知ってもらうか、についてだが、やはり時代はバーチャルタレント。環境についてのインフルエンサーとしてバーチャルタレントに依頼すると良いではないだろうか。なぜなら、先ほど挙げたもののうちVRの中にバーチャルタレントが、ミニチュアの横にあるモニターの中に映ったバーチャルタレントが環境破壊について語れば、多くの人々が興味を持つキッカケになるのではないだろうか。
３人～４人で参加し、１人が回答者として環境クイズに挑戦。残りの人は手回し発電機で発電し、電球が光っている間だけ、クイズに回答できる。クリアすると環境に優しいグッズをプレゼントする。ゲーム感覚で環境について楽しく学ぶことができ、環境に興味を持つきっかけになると思ったから。また通らなかった人の目にもつきやすいと思ったから。

提案内容
「さいたま市の中高生を対象にした発電所ツアー」さいたま市の中学、高校生からおうぼした人を対象に、全国各地の様々な発電所をまわるツアーを設ける。そのツアーでは、発電所を見学したり、その発電所を環境という視点から見たときにどんな長所や短所があるのかを話し合ったりする。旅行のような感覚でツアーをしつつ、環境について実際に現地におもむいて、詳しく勉強したり、身近に感じてもらうため、また、電力という観点で見た時の今の日本の現状を知るため。
有名なバーチャルタレントとコラボし、そのバーチャルタレントに環境について話してもらうと若い人とかもきてくれると思った。
植樹体験イベント
環境についてのクイズを出し、正解したら前に進めるなどの迷路をつくる。
田舎感を無くすために装飾を追加。埼玉と言ったらこれ！となるようなものを決めて売り出す。
・周りを植物や木に囲まれたカフェを作る。自然の中でリラックスし、植物を育ててみようと思うから。 ・環境に関する〇×クイズを作り、〇の方に進む迷路。環境について楽しく学べるから。ゴールした人には景品。 ・体験、実験をする。興味を持ってもらうため。
エコを一テーマにしたお祭りを作る、→色々な種類で楽しめる人を増やす！例)エコかるたなど・遊びながら知ること、多くの人に知ってもらうことがより簡単になると思うから。・体験を通して、知るだけでなく、関心を持たせることができると思うから。・内容が1種類だと、合う人、合わない人で別れてしまうので、様々な遊びを作ることでどんな人にも楽しんでもらいたいから。
<AR技術を使ったエネルギー体験>AR技術を活用し、参加者がスマホやタブレットを通して、「仮想世界」で実際の再生エネルギー工場などを体験できる。・利点 実際にしつて行く必要が無い 視覚的に学べる 企業の宣伝となる
・色々な有名人(俳優など)を呼びイベントをする。理由：子供や若者は好きな有名人がそこに来ると思うから。・イベント用に子どもにわかりやすい絵本を作り、(これを体験したかったら、ここに来て)などの言葉を入れる。理由：子供が行きたいと言ったら親や兄弟などもついてくると思う。そうすると、より多くの人がイベントに参加してくれると思う。
環境問題として代表的な物のごみ問題と考える。これは子どもから大人まで身近な問題で意識を変えることによって無くすことができる。なので、ゴミの分別方法をクイズにしたり、プラスチックなどのゴミ問題がどのような悪影響を及ぼすのかも映像にして、皆の目に留まる所で流すことで意識を変えることができると考えた。
・みんなからキャラクターを募集する。・SNSに活動をあげる。・オタクが来そうなイベント(なんかのアニメとコラボする)・埼玉の環境の歌をつくってSNSにあげる。
たき火をして環境のことを話し合う。なぜなら災害時にも役立つし、木のことについて話し合うことで様々なことを知れるから。
・バザー：自分のいらなくなったものを売ったり、エコな商品を紹介したりする。→そのときに3Rや環境について学んでもらう機会を作る・環境アイデア作品コンクールを作る!!→市のコンクールとしてアイデア商品をうみだすコンクールを作る！！小学校などに参加してもらう
いろんな場所をめぐるって環境に関するゲーム(例 ヨーヨー釣り、しゃてきなど)をクリアしてスタンプを集める。理由 環境にも運動にもいい。
リサイクルアート：使用済みの材料を使って作品を作成したりするイベント。地域の子どもが参加しやすいように楽しいイベントの方がいいと考えたため、リサイクルアートにしました。
ぼくは地球温暖化の恐ろしさをもっと様々な人に知ってもらうことが大切だと思います。そこで、環境イベントが開催される場に、地球のモデルのようなものを用意して、地球温暖化がさらに進んだ場合の地球の様子をイベントの参加者で見ってもらうという提案をします。それにより、現在地球はまずい状況にある事をよく知ってもらえると思います。
①スタンプラリー形式のごみ拾いイベントを企画し、ポイントが貯まったら、商品券がもらえる。という内容。理由は、商品券は需要があるので、協力してくれる人がたくさんいると思ったから。②形の悪い野菜や店頭に出せない食材を割引価格で売る。理由は、環境問題の1つである食品ロスに貢献できると思ったから。③不要になったものをバザーに出す。理由は、不要になったものを他の人に売ること、廃棄物の量を大幅に減らせると思ったから。
(内容)水の流れについて知ってる？というテーマで私たちが手を洗った後の水はどこへ行くか、映像でクイズをしながらすすめていけばいいと思う。
さいたま市でブランド化されつつあるさつまいも(紅赤)を掘り出したり、さつまいもを使ったさつまいもレシピの紹介、またさつまいも料理を実際に食べてみて、紅赤の魅力を市内外問わず広めるというイベント。これにより、さいたま市内で採れたさつまいもをイベントで使用しているため地産地消となり環境に良い。またイベント内やイベント会場などで環境に配慮した技術で行動をひろうすることで、自らの取り組みを広報する。
来てくれた人に植物の種と、プランター、たい肥のセットを配る。植物を育てながら環境を考えてもらうため。
若者に人気なものをかざったらいいとおもう。

提案内容
ごみ拾いをして、拾ったゴミの重さでランキングをつけ、ランキング上位者には環境にやさしい材料で作った日用品(箱ティッシュやトイレトペーパーなど)をプレゼントする。日用品は景品としてもらってもゴミにはならず、無料でもらえるなら欲しいものだから。
イベント名(埼玉県雪合戦大会)内容①埼玉県で雪合戦をする→②最後に(地球温暖化がおきたら、来年はもう雪合戦はできないかも)という。→みんなが地球温暖化対策を心がける
植物の種を配布して、植物の大切さを知ることができるブースを作る。
初期の環境フォーラムをつかいまわす。
・埼玉県で採れた規格外(見ため、形)の野菜や果物、植物を少し安い値段で販売し、食品ロスをへらしつつも、埼玉県でとれた野菜などはすごくおいしいんだよ、ということを知ることができる。・スーパーとかではなかなか売られていない野菜とかだとまた新たな発見につながるかもしれない。
・エコバッグの配布イベント　ビニール袋の利用を減少させるため。
①市にエコについての展示会を開いて、来てくれた人にエコバッグを配布する。展示会で使う、紙や売っている飲み物のストローをリサイクル紙にしたり、ストローをプラスチック製ではなく紙で使ったストローを使用する。②イルミネーションを木にかざるために、木を増やす活動を市民に推奨する。町にイルミネーションができることで、町の印象が上がり、木を増やすことで緑を増やし、地球温暖化対策にこうけんできる。
ゴミひろいの量によってけいひん(かいろうなど)がもらえるイベント
シャーペンがもらえる環境イベント
バスケットゴールにシュートを決めたら、クイズの質問に答えることができる。バスケットをクリアしたらサッカーゴール、その次はたっきゅうで1位にけいひん。
太陽光パネルの仕組みについて説明を行うイベント
企業ごとにブースをせっちして、すごさをアピールする。
人力発電機(手まわしなど)をつくり、体験してもらう。電気の大切さを身をもって知ることができるから。
ゲーム内のキャラクターがコラボした環境イベントがいいと思う。オタ活をしている身として、好きなキャラとコラボしていれば行きたくなるし、広告に出した時、目に付きやすいから。内容はなるべく大人でも子どもでも楽しめるようにし、幅広い世代の人が環境について知ることができるようにする。
植樹　森林が減ってきているから。
木々の間伐材などの無駄な木材を子どもの遊べるバスケットゴールなどの設備をより多く設置することで公園離れが進んでいる現状を改善し、環境に配りよししながら子どもたちへのさいたま市への関心を高めることができる。
環境に優しい製品を売る。　理由は、身近でエコ活動ができ、お店だから行きたいと思う人が多いから。
環境にやさしいものをつくる　体験したほうが面白く、記憶にのこるから。
水素で走る車を展示する。
水素で走るバスを走らせる。
プラスチックが使われているものと、使われていないものを分けて展示すること　理由：プラスチックがなんだかよく分からないと思うから。
街に落ちているゴミを拾った分だけ報しゅうがもらえる。理由は街がきれいになるし、報しゅう目当てにたくさんの人が参加してくれるかもしれないから。

提案内容
体験型イベント
分別するイベント
川でのゴミ拾い 理由：楽しみながら、ゴミを集められる
危機が迫っている環境問題をわかりやすく解説した展示会を開く。実際に体験したり体感できるとより良い。環境に配慮した食品を用いた食べ物や屋台やキッチンカー等で提供する。〔理由〕環境問題への理解が希薄である人が多いため、この企画を通して知ってもらう。食についての興味はどの家庭でも広くあるので、環境に配慮した食品で顧客を広げる。会場に足を運んだ人々が食品以外にも興味を持つ事を目指す。
「環境イベント」として企画せずに、他イベントとして開いてその中の一つのプログラムとして環境イベントを少し挟めば来る人が多いと思う。（景品を50代～70、80代に向けた物にする）
ゴミ拾いの後に豚汁定食とかくれるなら行くと思う。
・バーチャルで学ぶSDGs（ゲーム型）→ただSDGsのことを書き連ねているだけでは皆の興味を惹かない。バーチャルやゲーム型の展示にすることで「楽しみながら学ぶ」ことに繋がるのではないかと。
ゴミ拾いのボランティアを増やす。ゴミ箱を増やす。
環境についての事とゲームを絡めてイベントをする。ゲーム等の企画にすると、子供が興味を持ちやすく、たくさん人が来ることができると思ったからです。
問題に正解し、ポイントごとにお菓子（出たゴミを再利用）が貰える。
自分の身近なゴミで、新しい作品や物を作るイベント 自分の身近な物を使うため、小さい子供なども楽しむことができると思ったから。また、そのイベントでやったものは、家でも楽しむことができると思ったから。
ゴミポイ捨てで罰金
地域が一体となって主催しているイベント。
草むしりに参加し、一定数の量をむしった人は、遊園地の割引券を貰える。何か、ご褒美が無いと、やる気が出てこないと思ったから。
県議会での話し合いを市内の子どもにその場で聞かせる体験をさせる。
最近、国内外でスマートゴミ箱が設置されています。そこで、さいたま市でもスマートゴミ箱を設置するのいいと思います。インバウンドが増えてい中で、海外の人にも分かりやすいようになれば、ゴミを捨ててくれるのではないかと思います。そして、スマートゴミ箱に関するクイズイベントを開催するのいいと思います。クイズ形式にすることで、楽しみながら、ゴミ問題の解決方法を知ることができると思います。
市が環境の事でどのような事をしていたかを壁新聞にして、展示会をする。わかりやすく新聞にまとめれば「難しそう」と思われず相手に伝える事ができる。
体験型のやりがいのある方が楽しい。緑のカーテン作りなどの仕組みを説明し、野菜や花を採る。そうしたら、小さい子から大人まで楽しめると思いました。
ゴミ分別ボランティアを作る。カラスに食われないよう、必ずゴミにネットをかける。（強制にする）あまりにもしなかったら罰金。
内容：簡単なキットを用意し、風力発電や太陽光発電等の仕組みを知る取り組み。理由：再生可能エネルギーの良さを知って、身近に感じられるから。
環境に配慮した紙の日用品などの道具を使ってカフェやお店を簡易的にたててイベントに参加した人に使ってもらう。→普段あまり使わないからこそわかっていない良さがあると思うので、1回使うだけで意識が変わると思ったから。
長所が一つも無いさいたまにとって最高に町おこしをすることが可能である。1つでもさいたまの名物を増やしたい。

提案内容
大人用と子供用の両方を用意し、親と子にそれぞれ別の問題を渡す。記念品の他に、何かの交換券、割引券を渡しても良いと思う。（理由）子どもだけでなく、大人にも環境の事を知ってもらいたい。何かの交換券、割引券を渡す理由としては、子供はあれやこれが食べたい、欲しいと言うのに対し、大人は出費を抑えたいと考える。そこで、そのようなものを渡す事により、両者のニーズを満たせる。また、大人が子供に渡す事によって、もし子供が他にもあれが欲しいと言った場合、大人は「さっきあれを買ってあげたでしょ、じゃあこれで最後ね」などと言えるため、財布の紐が緩みやすくなる。これで、大人が何かを買い、それで県がお金を得る。そのお金を環境事業の予算の一部にすることで、環境も良くなる。
観光客が来て町が賑わう。
さいたま市で、人気ゲームのスポットを増やす。経済効果が見込める。
内容：地域ごとにゴミ拾いをする。理由：道路等にタバコや紙のゴミがたくさん落ちていたから。
クイズだけでなく射的とかやった方が面白いと思います。
皆が自分のマイバッグを持参するために、バッグを配って買い物等に使ってもらう。
埼玉県の地域ごとに野菜を育てることで地域の人同士も仲良くなり更に子供が野菜作り体験もできるため。
【内容】さいたま市の環境イラストコンテストをする！さいたま市の小中高の学生の皆さんにイラストコンテストの用紙を学校を通して配り、賞に当選した人には環境にやさしいグッズや図書カード等をプレゼント！【理由】イラストを描く時にどうやったら上手く伝わるかきっと考えると思うので、環境に興味を持ってくれる子が増えると思ったからです。
環境に関するクイズ大会 レベル1～5に分けて行う。点数が高い人は景品で木などを使った箸などをプレゼント。点数が低い人でも参加賞をあげる。賞品が貰えることを確定させれば誰もが来ると思うし、難易度を調整すればどの年代の人も楽しめると思ったから。
環境問題などに関するクイズ大会などを開催し、深刻な問題に対する見方や考え方を改める。
①イベント→まず、図書館の展示スペースに、「太陽光発電」、「バイオテクノロジー」…のような、環境に関わるテーマごとに、それについて詳しく書かれている本を紹介し、それを読んだ人たちで、ポップを書く。そして、同じ本について書いたポップを、誰が一番読みたくなるか、をシールでそれを見た人達が投票し、一位になった人には景品②理由→図書館は、老若男女、たくさんの人が毎日来るから。
体を動かして子供が楽しめる様なイベントをした方が良いと思う。そうするとブログなどで子供がオススメとして掲載するので親が発見していくと思う。
【内容】色々なミッションを用意して、それに正解したら、進ませる。間違えたら、脱落という迷路を作る。正解数によって、景品を変える。来場者の中で一番速くすべての問題を正解した人に豪華プレゼントをあげる。【理由】子供がリサイクルなどに興味を持つと、将来の役に立つから。
パンくれたら行きます。
地球温暖化の阻止の為に植物を育てたり、植えたりするイベント。
・ゴミを減らす・SDGsに取り組む
一人一回環境クイズに挑戦し、正解した数をランキングにする。ランキングがあるとやりたくなる。
市で今の環境の深刻さを伝える会的なものを定期的に行う。環境の事について色んな人が身近に思えるようにする為。
いくつかのブースを作り、そのブースごとに目的を達成したらスタンプを押してもらえ、それが何個か以上貯まったら記念品をプレゼントするというイベント。例えば、ブース案として、「自転車のペダルを漕いで発電する」というものだったり、実際にゴミを用意して、「正しい分別の仕方」等…。また、市役所でただ行ったとしても、親子連れは来てくれるかもしれないが若者の集客は厳しいと思う。なので、HPだけでなく、他のSNSでの広報活動にも力を入れるべきだと思う。
スタンプラリー等が良いと思います。理由は小さい子供等も楽しめるからです。
アーチェリー場の増設 芝生が多いから。

提案内容
農林水産省で働いている方々の講演会。実際に環境作りをして下さっている方々からお話を頂くことで自分たちが環境の事を考えるきっかけになると思った。
・謎解き（クイズ形式）をしながら進む環境イベント。親子連れがたくさん来る→子供たちが環境について学ぶ→今、環境問題がどれほど深刻なのかを知る。→という風になると思います。
射的の景品をSDGsに関する商品にし、SDGsに興味を持ってもらうように仕向ける。具体的な景品についてはSDGs本や環境に配慮したものにし、少しでも興味を持たせるようにする。
・親子で楽しもう！エコバッグ作り！親子で簡単にできるエコバッグ作りを行い、それを完成したら持ち帰ってもらう。このようなイベントを行うことで環境についての理解が深まるし、親子の絆もできて良いと思います。エコバッグは子どもが好きな色を選んで絵を描けたりするのが良いと思います。お金は一組1,000円ほどでその分、丈夫な物が作れると良いと思います。
自分達の未来に関係するような事に関して説明したら良いと思う。
クイズ大会、ビンゴ、お祭りなどを行い、賞品として、花をあげ、自然の大切さを知らせたり、SDGsのマグネット、塗り絵などで子供からへの興味を惹く。
木や葉等で色々な物を作る工作イベントにプラスで木の大切さや地球環境についての講義をするというイベント。なぜなら、工作イベントなどで将来有望な子供たちがたくさんイベントに参加して、楽しみながら地球環境について学ぶことが出来るから。
地球温暖化などについてくわしく学ぶためにどこからか先生を招いて本格的に授業をして、地域の人が学ぶ。というのがいいと思いました。くわしく知ることができたらおもしろいし、みんなの知識が深まるからです。たのしいと思います。
テーマ：森林の大切さ 木を一つ育てる大変さ まずは講座で木を一つ失うことによっての問題や大量伐採の深刻さを伝え、次はフィールドワークで実際に山などに入り、自然の大切さを伝え将来をにう子どもたちに全てをゆだねる
各場所に何人かを配置して、環境に関するあまり難しくない問題を出して正解できたらスタンプがもらえるというような「スタンプラリー」を開催する。「スタンプラリー」なら宝探しみたいな感覚でできるし、問題も「スタンプラリー」が進んでいくほど少しずつ難しくしていけばあきらめることもなく、難易度を少し低めにすれば子供だけでも参加できる。「スタンプラリー」を全てコンプリートしたら景品がもらえるようにする。景品も子供向けのもではなく、中高生や大人でも使う場面のあるものを用意して選べるようにする。「スタンプラリー」の範囲はあまり広めに設定せず手軽に参加できるようにする。
さいたま市環境工作会を開催！～間伐材を再利用して工作～ 木をコースター状に切ったものをあらかじめ用意しておいて、コースターに自由に絵を書いてもらい作り終えたらそのまま作ったものをプレゼントしてコースターで使われている木の説明や近年の問題が書かれている紙と一緒に渡す。〔理由〕工作をして木に対する実感がわき環境に興味を持つきっかけにもなると思うし、工作スペースを設けることで通りすがりの人も気になって沢山の人がおとずれるようになると思うから。
自分たちがちょっと水を出しっぱなしにしたり電気のつけっぱなしでどれだけエネルギーをむだにし環境に影響をあたえているのかが書かれている場所をつくった方が良いと思う。なぜなら、1人の100歩より100人の1歩の方が進みがはやく楽なので自分がこれをやめるだけで環境が良くなると思えば協力して環境をよくしよう考えるから。
環境をモチーフとした遊園地。理由）遊園地はみんなが好きなので人がたくさん集まるから。遊園地をさいたま市の環境をテーマにして作ればみんなに環境を知ってもらう機会になるから。
都会などにおちているゴミをそうじして町をよりきれいにするイベントに参加してみたいです。町をきれいにしてすごしやすくしたいです。
いろいろな場所から集めたゴミをリサイクルする工場を見学できるようにし、そこでリサイクルする過程を案内するイベントがあるといいと思いました。ゴミが新しくかわっていく様子を実際に見たらリサイクルに興味がわくと思いました。
ふれあいまつり。様々な年齢の人々がふれあい地域の交流を深める。
内容：自分の知りたい環境問題の一つを選んでそれについての動画を見られる。また、その時にリサイクルできる物を持ってきたら景品と交換。また、参加者全員がリサイクル用品をもらえる。小さい子供にはお菓子のプレゼントも！ 理由：キャラクターを用いたアニメのような動画だったらだれでも楽しく見られると思ったから。またリサイクル用品をプレゼントすることによってどんなものがリサイクルされているのか知ることができる。小さい子どもにも喜んでもらいたいと思った。
環境をテーマとした様々なジャンルでの作品展覧会を開く。中でも特に良かった作品の製作者には環境に優しいグッズをプレゼント。環境について自分のアイデアを書くことができるアイデアボードのスペースをつくる。環境に関するクイズラリーを作る。理由：他の人のアイデアやクイズに挑戦することで環境に対して興味がわくようになるため。
さいたま市の各地をまわる環境イベントを開催。各ブースをまわるごとに環境に優しいグッズを配布する。年代ごとに別の体験コーナーを企画し、どんな人でも楽しめるようにする。〔理由〕さいたま市を巡ることで地域の魅力を再認識しつつ、環境に興味を持つことができると思ったから。このようなイベントは親子連れなど子どもから大人まで誰もが行きやすくなると思ったから。
地球温暖化を防ぐための方法をみんなで考えるイベントにしたい。グループワークのようなものでやるのが一番いいとおもう。
夏祭り。

提案内容
内容：未来がどうなるかなど、具体的に示す展示のようなイベント 理由：あまり未来の地球について想像しきれていないので、実感できるようになりたいと思ったから。
自分たちで体験できるものや〇〇つくりのような遊びを作って、子どもなどの興味を引くようなものをつくる。プロジェクターなどを使って分かりやすく映像で伝える。
そこでしかできないものがあると良いと思う。通路を作って問題を3つほど設置してその正解数に合わせて景品を変える。
雪を使うイベント（雪まつり、雪合戦、雪で作った簡易的なソリなど）イルミネーション その周りに屋台などを出す。
環境啓発イベントだけではなく、今行われている太陽光発電や風力発電などといった持続可能なエネルギー開発が、もたらすだろう環境へのダメージのリスクや実際起こっている問題や課題をイベント形式で人々に伝え、対策や解決策を考えさせてみる。理由：10年か20年後、何かしらの理由で管理されなくなって老朽化した電子パネルから流出し土壌を汚染するような化学物質を含む水道水を飲みたくないから。
畑や田をつくって田植えや畑仕事を体験できるイベントをつくり、参加者たちがつくった畑や田の作物を後で家に送ってもらえる。
補じょ金増やす。
街路樹を増やす
森の木を植える
環境の国際会議をさいたまスーパーアリーナでやれば良いと思います
ゴミを拾うごとにお金がもらえるイベント（1個50円くらい）（子ども向け）親もおこづかいをあげなくてすむし、ゴミも減る。
エコのカルタの大会 カルタなら子どもも大人も楽しめる 自然を見ながらウォークラリー ところどころにミニゲームをつくる 公園に木を植える 植物にふれられる
雪を使ったイベント（雪まつり、雪合戦、簡易的なソリなど）イルミネーション
正直、学生を中心に環境イベントに興味がない人が多いと思う。イベントを開催する費用は他の有効的なことに使った方が良いと思ってしまいます。
さいたまスーパーアリーナで環境のクイズなどを折り混ぜた脱出ゲームなどをしたら大人だけでなく子どもも楽しめるので良いと思う。
有名人と会える→座談会的な ペットボトルとかいらない物持っていったらお金もらえる
使わなくなったものを売るイベント
リサイクルのものをつかってなにかつくる。
ごみで商品を作ったマーケット リサイクルプロジェクト リサイクルマーケット
リサイクルプロジェクト
<内容>さいたま市の環境についてのミニゲームを開さいする <理由>気軽に参加できるのでより多くの人に環境について理解してもらえると思うから。
環境に優しい食材を使った食べ物や食器を使ったイベントをやる。実際に触れることによって良さを知ることができるから。

提案内容
環境に優しい皿でごはんを作る、配る 理由：食べ物もリサイクル、再利用することで環境問題について学べる
ゴミひろいをしてゴミがどこから来て、どういう所にどんなゴミが多いのかを考える。景品がある。
環境に関する体験型イベントを行う。写真スポットを設置する。身をもって実感でき、行きにくいような授業を行うより誰でも気軽に参加できる方がよいと思ったから。
リサイクルプロジェクト ごみから何ができるのかをしるため リサイクル・リデュース・リユースの3Rの大切さを知る
〔内容〕実際に再生可能エネルギーなどを生成するために使っている機械やその機械の仕組みを紹介しているブースをさいたまスーパーアリーナで開く。〔理由〕環境に関することをパンフレットとして配布するだけではその場限りの出来事になってしまい、覚えてもらうことが難しくなってしまうので実際に本物を見ることでその迫力や仕組みを身を持って体験できると思うから。
地球温暖化などの環境問題がより深刻になるであろう、未来の地球の街なみを再現して、そこで一般の人に少しの間過ごさせる 理由：「未来の街なみを見る」とかなら、イベントに興味がない若者でも少しは関心をもてるだろうし、この体験を通してより多くの人が環境問題への危機感をもてるだろうと考えたから。
さいたま市に体験型の環境イベントを置く。そこで実際に電気をつくるなど環境問題を身近に感じられることをすることで環境に対する意識が変わっていくのではないかと思ったから。
さいたま市環境フェスティバルを開催！ゲストを呼び環境に関するクイズをする。子供に関心をもってもらうために子供が楽しめる迷路を用意する。環境問題に関するクイズを用意し、全て当てることができた人に特別な景品を用意し、そうでなかった人にも参加賞をプレゼントする。（理由）はば広い年齢層の人に楽しんでもらうためにそれぞれの世代の人々が楽しめるようにしたいと思ったから。また子供でも「楽しい」「もっとやってみたい」と思えるようにしようと思ったから。
現在の環境破壊が進んでいる現状をプレゼンなどで発表しその後に参加者のみんなでゴミ拾いや街のそうじなど環境を守るための身近なことを楽しくやる。理由は最初に環境問題について知らせておくことで、みんなが「環境を守るために自分ができることをしよう」と思うことができるようになるから。
〇〇と一緒に環境について知ろう！ ただの環境イベントであるとかた苦しいイメージや自分とは無関係だというイメージがついてしまうかもしれない。そこで、埼玉県出身の芸能人や、アニメなど子どもたちや若者の間で人気のあるコンテンツとコラボすると、SNSでみんなの目に入ると思う。そこで限定のグッズなどを出せばさらにいいと思う。
〔イベント内容〕地球温暖化や大気汚染などの様々な環境問題を実際に体験できるスポット。お客さんはVRメガネや3Dメガネをかけてよりリアルな体験ができる。体験が終わった後はさきほど見た動画をもとにクイズに挑戦。正解者にはエコバックなどのエコグッズをプレゼント。〔理由〕やはり実際どうなるのかは自分の体で体験した方が印象に残るし、日常においても意識できるようになると思う。今は技術が進んでいるのでアトラクションのようなイベントも開催できるのではないかと考えた。
SDGsの目標を1個ずつそれと関係の深い場所に設置しすべてのSDGsを集めたら景品がもらえるイベント 理由：ゲーム感覚で遊びながらSDGsにはどういう目標があるのかを学べるから。
自分で花を植えたり、自転車をこぐなどでエネルギーを作り出したり、野菜で捨ててしまう部分を使ったクレヨン等で絵を描いたり、花束、しおり、ハーバリウムを作成したりする体験型のイベント。各ブースに説明動画が設置されている。話を聞くだけでなく、実際に楽しみながら環境に触れることで環境を身近に感じ、理解を深められる。絵を描くなどの幼児向けの内容にとどまらず、ハーバリウムなど若者に人気の出そうな内容を盛りこむことで子どもや若者にも楽しめるイベントになっている。
アニメなどの有名なキャラクターを使ってイベントを開催する。キャラクターを使うことで、小さな子どもや環境についてあまり興味のなかった学生や大人を引きつけることができるから。
環境についての展示やそれを実際に体験できるブースを用意する。訪れた人にお菓子などを配る。
空き箱などの身近な物を再利用して、工作教室を行う。理由…親子連れにも興味を持ってもらえそう。体験しながら環境について知ろうとするきっかけとなる。
着れなくなってしまった衣類やペットボトルなど普段ゴミになってしまうものを使った物作り体験ができるイベント。各自、家からいらないものを持って来ることでイベントに参加するための費用を軽減することができるだけでなく、リサイクルやリユース、リデュースといった「3R」に対する関心をうむこともできる。また、体験をすると同時に「3R」について学ぶことができるコーナーを設置することでさらに関心を深めることができると思う。学ぶだけではつまらないと感じてしまうことでも体験をとおして新しい発見や興味を得ることができると思う。そして未来を担う子供たち向けのイベントにすることで環境を守るために私たちができることの1つである「3R」を未来に受け継ぐことができるのではないだろうかと考えた。
環境に良いことを売りとしている最新の電化製品（水素バスやハイブリッドカーなど）を直接体験できるブースがあるイベントや自然由来の製品（オーガニックの化粧品や木製の食器）を販売するイベントはどうか。環境問題が重要視されているなか環境に配慮した最新の電化製品を展示することで人々に刺激を与え、エコな電化製品を使うことに興味をもってもらうことができます。また、電化製品は高くても、自然由来の素材を使った、人に優しい化粧品や木製の商品は人々に人工的な素材とはまた異なる良さを伝える契機となります。
環境に関する展示を子どもにも分かりやすいよう動画をつけたり、そこでさいたま市のキャラクターが解説するようにしたりする。各ブースごとに展示の内容のクイズを出題し、正解したポイントに応じて環境にやさしいグッズをプレゼントする。また、イベントを訪れた人に環境のために自分がしたいこと、できることを書いてもらい、その人たちの意見をたくさん展示する。
子どもが楽しめるように、環境に良い工法で作られたお菓子を作り、売る時にその工法がどのような効果をもたらすかについて説明したり、環境に関するクイズを行ったりする。また、若者がイベントに来るよう様々な業種の仕事や環境問題に密接に結びついているということを教える勉強会を開く。（仕事に関する新しいアイデアが出るかもしれない！）

提案内容
有名なアニメやゲーム、マンガとのコラボレーションを行い、そのイベントに参加するともらえたり、買ったりできる限定グッズや本（環境に優しい素材で作られたものなど）で若い世代の興味をひきつつ、それらを楽しみながら環境について学べる、活動できるイベントがあると、あまりそういったイベントに行ったことのない方々もエンタメに関心を持つ人はたくさんいるので積極的に参加するようになるきっかけになると思います。加えて、小〜大学生だけでなく幼い子どものいる家庭なら両親なども訪れる機会になるので、幅広い世代が来てくれるのではないのでしょうか。
私たちの身のまわりのものや行動が環境に与える影響を展示し、各スペースでスタンプラリーを設置する。全種類集まったらエコバッグをプレゼントすることで少しでも3Rを意識させ、啓発することができるのではないか。
・自転車をこいで自分のスマホを充電しよう 1分間に充電できた%の数だけお菓子がもらえる（参加賞で1つはもらえる） 理由：発電の大変さを知ってエネルギーを大切に使うほしい 自転車で発電することはとても難しいので何回も挑戦したくなると思う
・クイズとスタンプラリーを同時に行えるイベント（スタンプラリーのスタンプをクイズの回答のスタンプにする。スタンプラリーの景品として環境グッズをプレゼントする。）理由：みんなが楽しく環境について学べるから
子供も楽しめるような体験型のイベント。子供もたのしめるようなイベントであればイベントに来てくれる人の層が広がるから。有名人を呼ぶ。有名人のファンの人もファンでなくても会いたいと思ってる人も来てくれるから。
地球の環境に関するクイズ→参加した人に参加賞、それに加えて正解した数に応じて商品を渡す。さいたま市における環境啓発のブース→さいたま市でいなくなりそうな動物の展示、体験型のもも用意するなど。（理由）環境啓発イベントであれば、今地球で話題となっている環境問題を出来るだけ多くの人に知ってもらい必要があるので、小さい子でも参加できるクイズという形にする。また、さいたま市が主催するイベントであればさいたま市特有のものも必要だと思う。
さいたま市に3Rを促進するイベントを開催する。いろんな体験ブースをつくりどうすれば3Rにつながるができるのかを考えてクイズに答えていく。ゴミは環境とは切っても切れない縁にあるため、私たちが出しているゴミのことをもっと身近に感じて知ることができる。また、クイズに答えられたら、スタンプをゲットすることができ、スタンプラリーを完成させることができれば環境啓発に関わるグッズをプレゼントする。スタンプラリー形式にすれば、子どもたちにとって1つ1つのスタンプが埋まっていくことに対する満足感が高くなり、進んで体験に参加してくれると思う。
砂浜や公園のゴミをチームにわかれて拾い、その量を競うイベント 理由は競うという形式にすることによってゲーム感覚で楽しく参加することができると思うから。
私は画像や動画を見るだけのイベントよりも自分が体験できるようなイベントの方が楽しめそうなので、行ってみたいと思いました。環境イベントなので、例えば発電というテーマだったら手回し発電機を用意して来た人たちが発電を体験することができるようなコーナーです。また、小さい頃スタンプラリーが好きだったのでそれぞれのコーナーにスタンプを設置しておくコーナーを見てくれる人が増えるのではないかと思います。
自転車をこいで発電し、その発電量に応じて環境グッズをプレゼント 発電の大変さを知り節電へ繋がるかもしれない
そのイベントで現在の地球に起こっている環境問題についての資料を集めて展示したり、その資料を使ったクイズを出せばいいと考える。なぜなら現在の深刻な環境問題についてクイズを通して知ることによって少しは地球上で起きている環境問題について興味を持つのではないかと考えたからです。また、そのイベントで来場者1人1人に環境について自分が思っていることを専用の紙に書いてもらいそれを会場のめだつところに展示すればいいと考える。なぜならそれを見て他の人のかんきょうについての意見を知ることができ勉強になると考えたからです。
“環境にやさしい”ワークショップ・木材などの環境にやさしい材料で作られたグッズの販売・木材等を使ったグッズの製作体験・節電、節水（→家庭で実践できることをまとめて環境と家計の両方にやさしくする）等に関するパンフレットの配布、クイズ
①アップサイクルで自分の好きなものを作ろう！ 古着やリサイクルで作られたものを自分でリメイクして使ってみる→リサイクルやアップサイクルで使わなくなったものもきれいによみがえらせることができると分かるし、実用的なものが作れるから。1人でも家族、友達とでも楽しめそうだから。②みんなでエコツリーを完成させよう！ みんなが普段やっているエコな活動を葉っぱに書いて大きなエコツリーを作る。参加してくれた人には記念品をプレゼント→他の人の考えについて楽しく学べそうだから。
環境についての内容がふくまれているが、環境がイベントの容量で50%ほどをしめて、その他ではレクリエーションやバーチャルなどを利用した実体験設備を導入して若い男女、関係なく楽しめるイベント。「理由」ただの環境イベントならば、その分野の施設をおとす方がいから。→そのような施設ではできない体験を用意する。娯楽を入れることでお堅いイベントという雰囲気をやわらげる。
環境のつながりとしくみを理解できるようになるイベント。環境に対しての興味と知見を深めることができるから。
環境にまつわる俳句を書いてもらい、優秀作品を書かれた10人に景品をさし上げる。又、優秀作品の発表の際に、その俳句を放送で流すのもよいと思う。「理由」良い作品を作ろうと意欲が湧くから。又、発表では他の人の作品を聞くことができるし、ワクワク感があると思うから。
老若男女が楽しめるさまざまなコーナー(体験型、クイズ形式のもの)を設置し、それをスタンプラリーにして、全部達成したら景品または割引券の配布などをする。環境問題に関する書籍を設置するブース→環境問題への関心が高まるから。環境に配慮した食事の提供→日頃の食生活などで環境のことを気にする人が増える。さまざまな世代の人が環境に興味をもつきっかけになると思ったから。景品をつけることでよりイベントに参加する人も増え、人々の環境問題への意識が高くなる。
楽しく環境について学べるイベント。クイズやスタンプラリーなど、楽しめる要素をたくさん入れる。
近年、外来生物が生態系をこわしていて、身近な生物にもそのような生物がいる。そこで、そのような生物をおいしく食べて減らそうというイベントを開催すれば外来生物に興味をもってもらえると思う。そして、おいしく自然について考えてもらえると思う。（ただし、調理は工程が多いものが多い。）ex・アメリカザリガニの上半身から出汁をとり、下半身はエビと同様に・イモカタバミは、シュウ酸を抜いてからチップスやその他サトイモのように・アレチウリはつるの先端をカボチャのつるのように。

提案内容
地球温暖化についてのイベントをやる。内容は、昔と今の気温がどのくらい違うのかを感じたり、電動自動車を使えば、どのくらい温室効果ガスが減らせるのかを見る。また、地球温暖化についてのクイズやゲームをやって、景品をゲットできる。理由は、実際感じることによって、わかることもあるし、身近に感じることができる。また、クイズやゲームをやることで子ども、楽しく学ぶことができる。
アニメやゲームとコラボするのいいと思う。理由は、学校にある人気アニメの20歳未満のたばこ禁止ポスターを見て、これはみんな守りたくなるなあと思ったから。企画ややることの案としては、まずキャラクターを使用したイベントのポスターをつくる。(既存のキャラクター素材でも効果は十分にありそうだが、書き下ろしだとなお良し。)そして、イベント会場では、クイズ、スタンプラリーを開催し、入場特典や景品にキャラクター達の要素とエコ・環境の要素を入れたグッズを配る。オタクが喜ぶグッズを作れば次のコラボ環境イベント時に、また来てくれる可能性が高くなる。ポスター・グッズ共にそれらの情報がSNSで拡散されればさらに来場者も増える。
子どもやお年寄りも来やすいイベント。長ったらしい説明だとお客さんはつまらないので、体験型イベントをしたら良いと思う。どこかの公園でひらいて、だいたいの広告をだせば、人がたくさんくると思う。お年寄りの人もわかる説明をつくり、もりあげればたのしくなると考える。
リサイクルをすると、その物によってリサイクルされた物の1〜2%の金をもらえるようにする。これにより、リサイクルに気をかける人が増え、むだなゴミのはい出をへらすことができると思う。近年では、リサイクルに対する関心がうすれつつあるため、リサイクルでお金を得る他にも、お祭りなどのイベントで市が環境問題を気にするアピールをしてもらおうと、子どもの人たちにも関心が湧くと思った。どのような資源がなにになるかの表もあるとわかりやすく、興味や関心を持ってくれると思う。それによって研究が進み、新しい環境問題の解決方法を見つけてくれる人も出てくると思った。
私はひこうきがすきなので、炭素そざいのひこうきの機体の材料や、飛行機のクリーンエネルギーについて知りたいです。今はやっているゲームやアニメとコラボして、クリーンエネルギーやクリーンカーについての展示をしていたら、みてみたいと思います。エコなクリーンエネルギーなどを活用した車をみんなで作って、それでみんなでカーレースをしたら、子どもたちはたのしいと思います。埼玉県内でスタンプラリーを実施してゴール地点にゲストがいて、そこで環境のはなしをゲストと専門家とともに、きく。
環境保存に関するリサイクルやリユース、リデュースなどを用いた政策の例をかるたにまとめ、幼稚園でも遊びの1つとして使えるようにする。かるたの内容は埼玉の小中学生や中学生などから募集し、リサイクルなどに関して学ぶ機会を増やす。
みんなが知っている環境問題を身近に感じてもらえるように体験イベントを設けること。図や資料で展示をすること。また、あまり知られてはいないが、重要、または意外と日常で起こっている環境について教える。植林ボランティア：終了後、何か体の温まる食べ物(おでんなど)飲み物(おしるこなど)を配布する。←私は昔、これで環境ボランティアに参加しました。小さい子も行きたくなると思います。
さいたま市役所や清掃工場など、さいたま市の環境をより良くするために、機能している場所をおとずれることができるスタンプラリーや、ウォークラリーを開催する。また、既に商品化されてしまっているようだが、自転車をこいで、スムージーをつくるようなイメージで、自転車や手回し発電機で何か食べ物や飲み物をつくることのできる装置を、公園などに設置し、スタンプラリーで通るようにする。完走(完答?)した人には、環境に良い何かのプレゼント(材料として使われた木の残りでつくったプレートなど)を景品として与える。スタンプラリーの台紙は、スマホでいつでも閲覧可能にする。このような仕組みにすることで、子どもや若者がスムージーなどを求めて参加するかもしれないし、スマホに記録がつけられていくので、気軽に参加できるだろうと思う。
環境に関する問題や取り組みを紹介し、それについてのクイズをする。イベントのブースを利用して、迷路感覚で楽しめるようにし、全問成功してクリアした人に景品を渡す。また、その景品を環境のいいグッズにして、少し年齢が高い中高年や高校生がそのグッズを考えるイベントも行う。
さいたま市役所の入口などに、リサイクルボックスを設置して、ペットボトルキャップやトレーを入れたら、ポイントをもらえるようにして、ポイントを貯めたら割引券をもらえるようにする。小さい子にはお菓子やヌッと特別に会って写真を撮れる権利をプレゼントする。
地産地消をコンセプトにした体験施設(例えば県内のコミュニティ施設などを利用)はどうだろうか。地産地消なら最近、小学校でも習うので多くの人にとって身近なものだと思っているはずだ。主に何を体験するかというと深谷ねぎや草加せんべいなど知られているご当地お土産品をはじめ、意外と知らなかった埼玉県産の野菜やお菓子を販売したり試食をする。これにより、埼玉県在住の人も、住んでいるのは他県だが仕事や学校は埼玉県の人の“意外”をひきつけ給食を残さず食べれたり、スーパーの野菜を売れ残らなくなるのではないかと考える。完璧になくすのは難しいが、少しへらすことは簡単だと思う。このプロジェクトは環境に直接関わっているかどうかは曖昧な部分だが何人もの人たちのそれまでの野菜ざらいなどはなくせるだろうと私は考えている。
SDGsについて今自分でできることを紹介していくのがいいとおもいます。ゴミの分別や地球温暖化、ジェンダー平等など名前は知っているが私自身そこまでくわしくないので、そういうSDGsに関係したイベントを企画したい。このイベントを機に若い人たちに世界の実態を知ってもらい、自分でも環境に貢献できることを知ってほしいです。この企画をSNSなどで発信し、その企画にこれない人でも参加できる、世界中の人々にも知ってもらいたいです。イベントでは専門家の方たちのお話を聞き、クイズ形式でたのしくSDGsについて考えてもらい、今からできることを明確にさせていきたい。
太陽光発電を使った体験型イベントで再生可能エネルギーやこれからの新しい生活の仕方を教える。
自家発電機などを用いた体験型ブースを設置し、参加者が発電した電力量だけ暗闇の部屋で家庭用LEDを点灯させることができる。家庭用LEDという誰にも身近なものを使用することと自家発電の発電量を用いて普段「キロワット」など大きい単位で表されて想像しにくい使用電力を実感してもらう。また、一般家庭で使用される電力がどのように発電され、環境にどのような影響を与えているのかを知ってもらう。
内容 環境にやさしい発電方法を実際に自分でやってみたり、環境にやさしいグッズを自分でつくれる。理由 実際に体験して学ぶことが大事だと思ったから。
埼玉県の博物館で、環境関連のさまざまな仕組みとともに、今起きている環境問題の原因などをスクリーンや資料でわかりやすく説明した「日本・世界の環境問題大全」のようなイベントを企画してみたい。なぜなら、私は今の人たちが環境問題にもっと真剣に効果的に取り組むためにはそもそも環境問題が何故起きているのか、その問題によってどのような害が生じてしまっているのか、それらを知ることが重要であり、そのためには資料や動画スクリーンなどでそれらをわかりやすく、また子供でもわかるように伝えることが最も大切なことであると思い、それを発信していくイベントにしたいと思ったからである。
温室効果ガス削減に向けて、木を植える植林体験のイベントを開催するべきだと思います。木は光合成によって空気中の二酸化炭素を吸収し、都内でも新鮮な空気を生み出しより快適な住まいを提供できると思いました。

提案内容
3か月に1回程度の頻度で、みんなでエコについて考えるイベントを実施する。多くの人が集まってできるようさいたまスーパーアリーナなどの大きな目の会場を使う。このイベントはエコの大切さを多くの人に身近に感じてもらえるようにするために、参加者をいくつかのグループに分け環境に優しい製品や生活のしかたを考えるようにする。そこででた案はグループ毎で図や絵にしたり、何を使って作るのか、どこがエコポイントなのかをまとめ、最後に全体で発表などを行う。また、年齢や性別をごちゃ混ぜにすることでより多くのアイデアが生まれたものを思いつくことが可能になると思う。
スマホの二次元コード読み込み機能を利用したスタンプラリー ・説明文の近くに二次元コード読み込み機能を利用したスタンプラリー ・正解するとスタンプが押され、一定の数集まるとお菓子などの景品と交換可能。最近では小学生でもスマホを持っている人も増え、又スタンプラリー台の設置にも時間がかかるためwebサイトなどを作った方が紙のスタンプラリーよりもやりやすいのではないかと考えたから。クイズを加えたのは一度しっかり説明文を読んでもらうことで更に興味を持ってくれる人を増やすため。
ごみ拾いをしたら小さい子にはお菓子、大人にはクーポン（何でもOK）と、抽選券（抽選で3人に米3か月分プレゼントなど）をプレゼントする。理由…小さい子どもも大人も参加したくなるから。
<内容>芝川の周りを各学校で散策し、各学級で皆でお弁当を食べた後に手分けしてさいたま市内のごみひろい。<理由>同じ日に開催することで学年、学校を超えたつながりを持つことができるから。ごみひろいをしながら地域の方々に挨拶をすれば、地域の方々への啓発にもなるし、町の雰囲気も明るくなると考えるから。
・ゲームイベント 環境に関するクイズを開催 景品も環境に配慮したものを配る 理由：環境に関することを知ることができ、景品を配ることで実際に環境とつながりを持てるから。
ごみのポイ捨てが多いエリアで参加者たちがごみ拾いをする。拾ったごみの総量に応じてリサイクルして作られた製品を賞品として配布する。このイベントを開催することでその地域のポイ捨ての抑止力になり、参加者たちがリサイクルに興味を持つきっかけとなると考えた。それらのリサイクル製品にリサイクルされる前の資源を表示することによってより興味を持ってもらえると思う。さらに、リサイクルに必要な分別や資源の出し方を分かりやすく説明したパンフレット等を配布することで、誰でもできる身近なことだと感じてもらえるはずだ。また、配布する製品をエコバックなどの環境によい、普通の生活で使うものだと、リサイクルの良さを理解しやすくなると思う。
・ごみ拾いをしてもらう→拾ったごみの重さに応じてリサイクルされた何かしらの景品 ・ハテナボックス、カプセルトイ→リサイクルせいひんやゴミの素材をいれておく
参加者に渡された花や木など様々な苗を好きなものを選ばせて指定の場所に植えるというイベント。誰が植えたかの情報も任意で分かるようにしたりして、成長を定期的に見にいけるようにする。地球温暖化が大きな問題となっている中、こういった人の心も和むことができるグリーンなイベントは、会社や学校で疲れている人たちへの心のリフレッシュにもなると思います。
野菜を全部使い切る料理をしよう！（家族で参加しやすいので大人も子どもも環境を考える機会になるし、料理に興味を持てば家でもできるから。）
サイクリングイベント 自転車は二酸化炭素を排出する自動車とちがいで二酸化炭素を排出しないエコな交通手段。サイクリングイベントをきっかけに自転車に乗る人が増えれば二酸化炭素排出量は低下する。
さいたま市はごみの量がとても多いと思うのでリサイクルセンターの見学を市の方で企画するのがいいと思う。何故なら、ふだん私たちの出しているゴミがどのようにして処理され、また資源となるのかについて学ぶことはごみを減らして街などの環境を維持する上で重要だと考えたからだ。
私は環境に関するクイズイベントを行い、全問正解した人には景品を渡したら良いと思います。景品を渡すイベントを行うことによって参加者のやる気も上がり、環境についてもっと勉強する人が増えると思います。また、ポスターなどの設置にも力を入れて、一目でたくさんの人に環境について知る機会をつくるべきだと思います。イベントで渡す景品も普通のものではなくオリジナルの環境に関するキャラクターを作るとより良いなと思いました。キャラクターも地域の方の意見も取り入れるとさらによくなると思いました。
内容：稲わらを発酵させてLPガスを作る体験 理由：LPガスはガス管の通っていない地方中心に家庭の4割が使用しており、大半を輸入している。しかし、ある企業が2025年には稲わらを発酵させてガスを取り出す実証を始める。米を収穫した後に残る稲わらはこれまで肥料として一部使われていた。それによって燃料を外部調達する必要がなく、エネルギーの地産地消にもつながる。さいたま市にある広大な面積をもつ見沼田んぼでも稲わらからLPガスを作り、都市でこれを使うことは可能であるように思われた。
発電イベントを開催する。手回し発電機や自転車型の発電機などいろいろな発電機を用意し、今までにどれくらい発電したか見れるようにする。イルミネーションを設置し、夜に発電した電気で売るようにする。理由 人の手で発電することで環境に興味をもってもらい、イルミネーションで街の景観をよくする。
全員ヴィーガンになろう！！ 内容：全員でヴィーガンになりきってみる 理由：ヴィーガンになりきることによって肉が良いということを感じづため。ヴィーガンをすすめてくれる人の気持ちを考えて、野菜の重要性に気付くため。野菜は日本人にとって素晴らしいものであるためにも必要だと思いました。
日帰り自然と触れ合える場所へ行き、ところどころにクイズの書かれている看板をつくり、すべてのクイズに正解することができたら、記念として木材でできたキーホルダーを渡す。また、木材で自由に工作することができるワークショップを開催するという環境イベントをつくったら良いと思う。普段、自然と触れ合うことが少ないため、この環境イベントをきっかけにまた自然と触れ合いたいと思う人が増えると思う。エコバックをオリジナルで作れるイベントを作ったら良いと思う。自分でデザインを考えたエコバックであれば愛着が湧き、普段使う人が増えると思う。子どもや若者に人気な有名人を呼んでトークショーを開催したら良いと思う。その有名人に会いたくて来る人も多いと思うので、その有名人と一緒に環境のことについて知れたら楽しいと思う。
リサイクルされたもので作られた製品を売る店。←実際に実物を見ることで（例えばペットボトルでできたTシャツなど）リサイクルについて実感がわくと思います。
〔内容〕さいたま市各地を走行中のバスに搭乗すると二次元コードがある。それを読み込むとさいたま市〇〇イベント本部にバスに搭乗したことが記録される。また、降りるときにも降り口付近の二次元コードを読み込むと下車したことが記録される。1000円以上バスに使ったら通知がきて抽選することができる。ただし、この景品の金額の期待値は1001円以上にする。〔理由〕バスであれば環境によく、乗りやすい。また、抽選にすることで、参加者の“またやろう”や“くそ～！！”という賭博心理をあおることができる。なので景品の期待値を1001円以上にするのだ。

提案内容
環境ワークショップを開く（例）シーグラスで作るアクセサリやフレーム、キャンドルホルダーなど。牛乳パックで工作。（理由）ワークショップはとても人気がある。子どもからお年寄りまで楽しめて、それと共に環境を学ぶことができる。様々な対象年齢のショップを出し、集客する。これによって環境に興味を持ち、考えてもらえる可能性が高まる。
VRゲームでエコな暮らしを疑似体験できるイベントを開催したらどうでしょうか。主な内容はミッションをクリアして報酬（自然の恩恵）がもらえるというものです。ただ、この内容だと30分～1時間かかりそうなので、時間が無い人のためにコースを設けた方がよいと思います。例えば、スコア形式です。体験者がゲーム内でお買物に行くという設定で交通手段、買うもの、その他様々なオプションを選択して帰ってきて、環境に良いものを選んでいればいる程ポイントが多くもらえるという仕組みです。そしてゲームが終わった後、集計したポイントでスコアを競います。このようにゲームにすると、子供から大人まで簡単にエコな暮らしが体験できるかなと思いました。
さいたま市は都会なので、林業などの木と直接関わる職業をあまり想像しづらく、よく二酸化炭素排出量がスギの木〇〇本分とかと例を出されてもよくわからないだろうと思う。なのでさいたま市が主催して植林イベントを市内の小学校単位で遠征授業を林業を行っている所へ実際に行ってやるべきだと思う。そうすると、授業の一環としてこのようなイベントが体験出来るためとても良いと思った。
・公園等を会場にし、自ら歩きながら謎を解いたり、スタンプラリーを実施する体験型イベント。・冬はクリスマス夏はお祭り等その季節特有のイベントと環境に関するイベントとかけ合わせる。・SNSとイベントを融合させる。ストーリーを上げることでミッションが達成されたり、ヒントになっている等。…SNSが関係してくると中高生が興味を持ちやすいのではと思う。
子どもに各場所（環境問題や改善点について学べるような所）にスタンプラリーを設置し、すべてのスタンプラリーを集めると記念品がもらえるようにする。子供はスタンプラリーが好きであり、それをSDGsなどしくみあわせるといいと思ったから。
山登りをして自然の良さを感じさせる 登頂した人にはオリジナル環境グッズを配布する（マイカーを使用せず、公共交通機関で来てもらう）周辺で使えるクーポンを配布
ゴミ拾い大会をやる。（理由）大会で良い順位を取ったら景品を取れるようにすることにより、より多くのゴミを集めようと人々の意識を高めることができると思ったからです。
ゴミを分別して捨てたらスタンプがたまり、スタンプのたまりぐあいによってけいひんをプレゼントする。理由：スタンプカードにすることで子どもも大人も楽しめるし、けいひんがあることで積極的な参加がのぞめるから。
リサイクルについてのクイズ大会を開催し（年齢ごとに区分はつくる）優勝などした人にはリサイクルされたものを景品として授与する。
①ニュースや好きなもの、学生であれば授業で気になったことなど、環境に関係ないことから話し合う。②イベントに同席している主催者の大人に、大人ができる環境への取組やお金について質問する。③自分（子どもや学生）がハマっていることや授業での内容（国語や英語の文とか）を社会につなげられるか考え合う。＜理由＞①、③自分のことや授業の内容のことを話すのは面白いが、なかなか話づらいから。②大人が環境問題についてどう考えているか、大人になってもできる対策について知る機会があるといいなと思ったから。
市でごみ拾い大会を実施します。拾う範囲を決めて、大きなごみ小さなごみでそれぞれポイントを設定して競います。これなら子どもでも勝ちたい欲で参加してくれると思います。また、大人のために優勝者には電化製品などの景品をもらえるようにします。そして、ごみが拾い終わってきれいになった場所にお花を植えます。そうすれば、そこにまたごみを捨てる人は減るだろうし、地域が明るくなります。お花で満たされた、ごみがない町を目指していきたいです！
自分たちで落ちているゴミを拾ってその拾ったゴミを使ってアート作品を作る。よくできている子には賞状や景品をプレゼントしたり、その子が作った作品を町中に飾るなどする。理由：ゴミを拾うことで町もきれいになり、町中に飾られる可能性もあるのでゴミを拾うモチベーションもあがるから。
山などに行って登山しながらゴミ拾いしたり、生態系のクイズなどをして知識をつけながら簡単にディバートみたいなことをして一番良い意見を出した人に景品をわたす。実際に話し合いをすれば身近に感じられると思う。
ピック・アップ・チャレンジ 内容：さいたま市内で学生を中心としたゴミ拾い大会。カン・ピン・ビニールなど点数をそれぞれわりふり、いちばん点数が高かった人の優勝 理由：競争の要素が組み込まれることで、大人から子どもまでゴミ拾いに夢中になり、結果的に町もキレイになると思ったから。
最近子どもから大人まで、特に大人でウォーキングやランニングが流行っていると思うので、自然が豊かな公園などでランニングやウォーキングのイベントを開催し、そこで環境を活かした屋台やブースも置いて参加した人が全員で楽しんでそのようなブースで環境について学べるようにする。理由はランニングやウォーキングは環境豊かなところでやるととても気持ちがいいし、走ったり歩いたりしたあとはよく屋台などがあるのでそのような感じでブースがあればたくさんの人が参加すると思うから。
＜内容＞プラスチック製品のリサイクルの大切さを伝える問題やプラスチックでリサイクルできるものを分別して持ってきたりすると特典としてマイボトルをプレゼントする。＜理由＞環境イベントといっても飲み物はペットボトルだったりよくするので逆にそこでマイボトルを配布したらよいのではと思ったため。
＜内容＞・環境をクイズにする＋環境問題などをモデルにした模型をつくる。・クイズに正解をしたら景品としてお菓子などをプレゼントする。＜理由＞幼い頃に行った法務省のイベントでは、クイズの景品としてお菓子などをプレゼントしており、子供達が喜んでいたので。
＜内容＞地域の公園に参加者を連れて行き公園の清掃をする。参加者全員で草を刈るなどし、公園の環境を良くする。そうすることにより、公園を利用する人たち（特に子どもたち）にとって遊びやすい、過ごしやすい環境を作り出せると思う。僕自身、小学生の時小学校で公園清掃に参加する日があり、清掃してからとても気持ちよく過ごせたので、公園清掃を日常化していきたいと考えている。＜理由＞子どもも大人も利用する大切な場所か？自分たちが使う場所なのできれいにしたいという気持ちが強いはずだから。地域をクリーンにしていきたいです！
環境カードゲーム大会：スーパーのおかしなどに追加で環境カードをもらえるようにする。環境カードはカードゲームで使えるカードで1つの環境問題に対する内容と解決策などが書かれている。カードゲームではそのカードを駆使してより多く地球の環境問題を解決したほうの勝ちとなる。そして環境カードゲーム大会はその大会である。なぜ、これを提案したのかの理由は2つある。1つ目は、環境問題の知名度・関心度が上がると思ったからである。自分のデッキを考えれば考えるほどカードへの考えも深まると思った。2つ目は最近、ゲームでカードが熱いからである。ほとんどの人が知っている最近できたばかりのカードゲームで人々のカードに対する関心は高まっていると思うので、環境カードゲームをつくることでそのゲームへの関心もそれによって少し上がると思った。

提案内容
道端の花壇に花を植える。鮮やかで色とりどりの花を植えることで、花を見るだけで心が安まります。コロナ禍によりマスクをつけて生活する日々だったのが今年からマスクをはずして生活する人もふえて以前より活気があるように見え、植物などの自然が人々にもたらす影響を上手に活用する。・地域の自然イベントを活性化させる。浦和など、大きい駅で駅構内でお話してもらう。
市民が全員参加して、市内のごみ拾い大会を実施し、チームにわかれて行い、ゴミをたくさん拾ったチームが優勝。優勝したチームには賞金。参加賞に豚汁。
クイズ形式で学んでいくイベントが良いと思います。また、スタンプラリーなど積極的に参加者が参加できるのも良いと思いました。
私はペットボトルのリサイクル体験をやってみたい。プラスチックは燃やすと有害ごみが出るのでペットボトルは燃やして、ゴミ堆積場に積むことができないと聞いたことはあるが、実際ペットボトルがどのように加工されているのか知らないから。プラスチックを溶かしている所など見れたら面白いのかなと思ったから。
リサイクルできるもの、ペットボトルのふたとかを預けるかわりにそういうものでできたグッズをプレゼントする。リサイクルするのに、もとの形を変えるのに、時間やお金がかかるかもしれないし、それを無償で配るのは難しいかもしれないが、一度自分が参加した環境にいい行動が形・ものとなって返ってきて目で確かめられたら今後も取りくもうと思えるのではないかと思う。
さくら並木やいちよう並木を地域の人たちでマラソンorジョギングするというイベント。→町の環境や景色の継承になるし、そのイベントのために良い状態で町を保とうと、地域全体で協力してボランティア活動に励むことができると、地域の人たちの交流も増えて、町全体が活発になり、良い雰囲気づくりができると思う。実際に私が住んでいた地域にこのイベントがあり、参加した私自身も楽しかったから。
イベント…地元の農産物を使った食育イベント。地元の農家と交流するイベントを開催することで、地産地消かフードロス削減を促進する。説明を耳で聞くだけでなく、実際に食べることで、五感全てを使って環境について考えることができ、より深く理解できる。
何か有名なアニメやゲームとコラボする。たとえば、イベントに行って、スタンプラリーをしたりするとなにかもらえるかんじ。
僕は「エコ・フェスティバル・地球に優しい一日」をするのがいいと思います。その内容は地元のオーガニック食品やエコグッズ、リサイクル商品を販売するエコ・マーケットというブースや廃材やリサイクル品を使ったアート作品の展示をし参加者も自分のアートを作成できるワークショップを開催する再利用アートブース、オーガニックで地元の食材を使ったフードトラックや地産地消メニューを提供し、食に対する環境意識を高めるフードトラック・エコグルメなどを設置し、多方面での環境意識を高める様々な企画を行うという内容です。これが良いとされる理由は、まず来場者が実際に参加し、学び、楽しめる要素がたくさんあるからです。
テーマ：クイズ大会をやる(特典付き)子供や若い人々が参加しやすくなり、環境に興味をもつから、景品があるとみんなやる気を出すから。
リサイクルできるもので玉入れ。楽しめるから。
コバトンとごみ分別大会をコラボする。〇〇区にわかれて誰が一番きれいに分別できるか競う。学校単位で決められている場所のそうじをする。家族向けに動物園の中に植林できる場をつくり、自然にふれあえるようにする。
VR技術などを使ってみると若者や子供の興味をひけると思う。たとえば、エコな環境の未来と環境が壊された未来をシミュレーションして実際にVR体験してみると楽しみながらエコの大切さを学ぶことができる。その上で、クイズもやってみると今後の生活に役立つ企画になると思う。
みんなでごみ拾いをする企画をたてる。ごみ拾いをした後に、ごみ拾いをした人たちにご飯を無償で提供したり、その場にお店のようなものを開いてみんなが着なくなった洋服なども提供することで、参加する人も増え、環境にも優しいと思ったから。
環境に関するクイズや環境に関する物を用いたミニゲームがある縁日みたいなものをつくる。
都心部など色々なところに植物や木を植えるイベント。少しずつ都心部の自然は多くなってきているが、もっと増やしていくべきだから。
環境に関するクイズを出し、正解数に応じて景品を渡す。理由：面白そうだし、景品を渡すことでみんな参加してくれると思ったから。
環境について自分が主体となって考えやすくなるために、擬人化したアニメをつくって、みんなでみて、そのアニメをみた後にアニメに出てきた内容のクイズに答えそのクイズで満点をとれた人には、景品をプレゼントする。というものがよいと思う。アニメをみるのはわかりやすく、楽しいし、クイズで賞品をつけることで、より、興味を持って参加することができると思うから。
テーマ：環境によい物を集めたフリーマーケット＆屋台。野菜の皮まで使った料理や、古着をリメイクした物など環境に少しでも貢献しているものを対象に誰でもお店を出せるイベント。お年寄りの知恵や若者の斬新なアイデアを多くの人と共有することができるのではないかと思います。また屋台などを外に出すことで誰でも気軽に立ち寄れて、いろいろな世代の人に環境について考えてもらえると思います。
例えば、大豆を使った代替肉、人エイクラ、昆虫食などの代替食品に興味を持たせるイベントを開く。内容：大豆ミートなら、本物の肉と大豆ミートを食べ比べて、どちら本物の肉かを当てるゲームを行い、正解したら景品がもらえる。景品は、普通の製品なら、50円引き、環境に配慮された製品(対象を決めるのは難しいが)なら100円引きの割引金券。
市で行っている環境を保護するための活動についての展示や、これからやろうと思っている活動の展示があるイベント。また、市民の方々と一緒にごみ拾いをするなど。